

静岡県 富士市

## 東平遺跡 第43地区

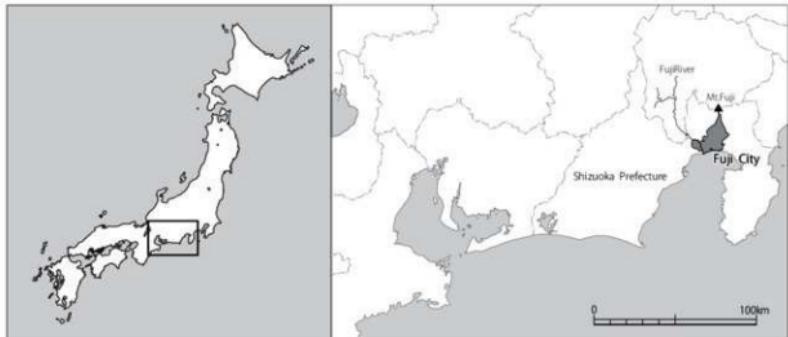
2022年3月

富士市教育委員会



# 例　言

- 1 本書は、静岡県富士市伝法 2806-3 外 5 筆（1,432.19 m<sup>2</sup>）において実施した東平遺跡第43 地区の発掘調査（4次調査）にかかる報告である。発掘調査は集合住宅建設に先立つ事前調査として、事業者からの委託により富士市教育委員会が実施した。
- 2 発掘調査は、令和3年1月13日から2月16日にかけて実施した。  
実際の調査掘削面積は 412.248 m<sup>2</sup>である。
- 3 本報告書刊行に向けた整理作業は、令和3年（2021年）9月に開始し、本書の刊行をもって終了した。
- 4 本書の編集は若林美希（市民部文化振興課文化財調査員）が担当した。執筆は第4章は佐藤祐樹（市民部文化振興課主査）が行い、他は若林が担当した。
- 5 現地調査における記録写真、整理作業における遺物写真的撮影は佐藤による。
- 6 本書で報告した調査に関わる記録図面・出土遺物等の資料は、すべて富士市教育委員会で保管している。  
今後、富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）に移管する予定である。

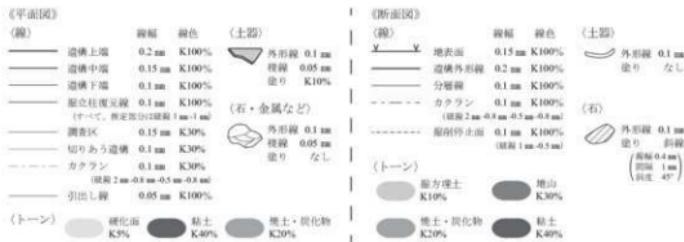


静岡県富士市の位置

# 凡例

- 1 本書で示す座標は、平面直角座標第VII系を用いた国土座標、世界測地系（平成14年4月施行）を使用している。  
調査では、国土地理院による都市再生街区基本調査成果を用いた。
- 2 挿図の縮尺は、各図に添付したスケールで示す。写真図版の縮尺はすべて任意である。
- 3 土器の実測図では、断面を以下のように表現することで種類の違いを示した。  

- 4 土層・遺物の色調は『標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議局監修）に準拠した。
- 5 遺構・遺物ともに、法量の〔 〕は残存値、〔 〕は推定値である。また、土器の残存率は図示中の残存率を示した。
- 6 遺構図は、以下の基準に則り記載した。



# 目 次

例 言

凡 例

目 次

<b>第1章 調査の経緯と経過</b>	
第1節 発掘作業の経緯と経過 .....	1
第2節 整理作業の経緯と経過 .....	4
第3節 調査の体制 .....	4
<b>第2章 東平遺跡の概要</b>	
第1節 地理的環境 .....	5
第2節 歴史的環境 .....	6
第3節 調査履歴 .....	11
<b>第3章 調査の成果</b>	
第1節 遺構 .....	15
第2節 遺物 .....	23
<b>第4章 総括 .....</b>	<b>25</b>
写真図版	
報告書抄録	

## 挿図目次

第1章 調査の経緯と経過	
第1節 発掘作業の経緯と経過	
第1図 東平道路第43地区位置図	1
第2図 確認調査トレンチおよび本調査区配置図	1
第3図 確認調査トレンチ平面図	2
第4図 本調査区全体図	3
第2章 東平道路の概要	
第1節 地理的環境	
第5図 駿河湾上空から富士市を望む	5
第6図 周辺地形図	5
第2節 歴史的環境	
第7図 東平遺跡の位置	6
第8図 鹽井川東岸道路分布図	7
第9図 歴史的環境 (1)	8
第10図 歴史的環境 (2)	9
第11図 歴史的環境 (3)	10
第3節 調査履歴	
第12図 東平遺跡 調査履歴図	11
第3章 調査の成果	
第1節 遺構	
第13図 SD4001平面図・セクション図(北)	15
第14図 SD4001平面図・セクション図(南)	16
第15図 SD4001平面図・セクション図	17
第16図 土坑・ピット 平面図・セクション図(1)	18
第17図 土坑・ピット 平面図・セクション図(2)	19
第18図 土坑・ピット 平面図・セクション図(3)	20
第19図 土坑・ピット 平面図・セクション図(4)	21
第20図 土坑・ピット 平面図・セクション図(5)	22
第2節 遺物	
第21図 出土遺物実測図	23
第4章 総括	
第22図 東平遺跡における北北東軸の遺構配置	26

## 挿表目次

第2章 東平道路の概要	
第3節 調査履歴	
第1表 東平遺跡 調査履歴一覧表	12
第3章 調査の成果	
第1節 遺構	
第2表 ピット・土坑一覧表	23
第2節 遺物	
第3表 出土遺物観察表	23

## 写真図版目次

PL.1	1. 2区完掘全景(南東から)
PL.2	1. 1区完掘全景(西から) 2. 1区完掘全景(北西から)
PL.3	1. 1区ピット完掘全景(南東から) 2. 2区遺構検出全景(南東から)
PL.4	1. SD4001 土層帯全景(南東から) 2. SD4001 土層帯 AA'・BB'(南東から) 3. SD4001 土層帯 DD'・EE'・FF'(南西から) 4. 2区完掘全景(南東から)
PL.5	1. SD4001(南から) 2. SD4001 南半(北東から)
PL.6	1. SD4002(西から) 2. PI4006(東から) 3. PI4024・4028・4029・4033(南から) 4. SK4039(北西から) 5. PI4048・4049・4051(南から) 6. SK4053・4054・4055(南東から) 7. 発掘作業の様子(南東から) 8. 出土遺物

# 第1章 調査の経緯と経過

## 第1節 発掘作業の経緯と経過

### (1) 確認調査(3次調査)に至る経緯

株式会社 海野木材店（以下、所有者）は、富士市伝法 2806-3 外 5 筆（1,432.19 m<sup>2</sup>）において宅地分譲事業を計画した。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地「東平遺跡」の範囲内に位置することから、富士市教育委員会（以下、市教育委員会）の補助執行機関である富士市市民部文化振興課と埋蔵文化財の取り扱いについて平成 19 年度より協議を続けてきた。

平成 20 年度に実施した 1 次調査では、古代のものと推定される溝 2 条が検出され（富士市教委 2009）、平成 29 年度に実施した 2 次調査では、同じく古代のものと推定されるピット 5 基が検出されている（富士市教委 2019）。協議の結果、敷地南側の埋蔵文化財の状況についても確認が必要ということになり、所有者は令和 2 年 2 月 13 日、富士市教育委員会教育長宛（文化振興課）に「埋蔵文化財試掘確認調査依頼書」と「発掘調査承諾書」を提出した。

これを受け、文化振興課は令和 2 年 4 月 10 日、文化財保護法第 99 条に基づく書類「発掘調査について」を静岡県知事（以下、県知事）宛に提出し（富士市文発第 43 号）、文化振興課職員による確認調査(3 次調査)を実施することとなった。



第1図 東平遺跡第43地区位置図

### (2) 確認調査(3次調査)

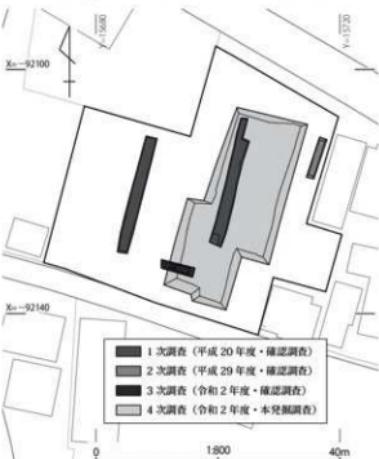
確認調査は令和 2 年 4 月 14 日に行った。

敷地の南寄りに東西方向のトレンチを 1 本設定し（8.051 m<sup>2</sup>）、重機による掘削を行い、遺構・遺物の発見につとめた。その結果、地表下 1.0m で、不明遺構（SX1001）が検出された。検出状況では切り合ひ関係が判別できなかったが、複数の掘り込みが重複したものと判断され、遺物は出土しないものの覆土の特徴から奈良・平安時代の遺構と考えられた。

令和 2 年 4 月 16 日、事業者ならびに県知事宛に「発掘調査結果概要」（富士市文発第 73 号）を提出した。事業者には、今後工事を行う際には、事前に埋蔵文化財の保護に向けた協議が必要である旨を伝えた。

### 参考文献

- 富士市教育委員会 2009『富士市内遺跡発掘調査報告書 - 平成 15・19 年度 -』
- 富士市教育委員会 2019『富士市内遺跡発掘調査報告書 - 平成 29 年度 -』富士市埋蔵文化財調査報告 第 66 集



第2図 確認調査トレンチおよび本調査区配置図

### (3) 本発掘調査（4次調査）に至る経緯

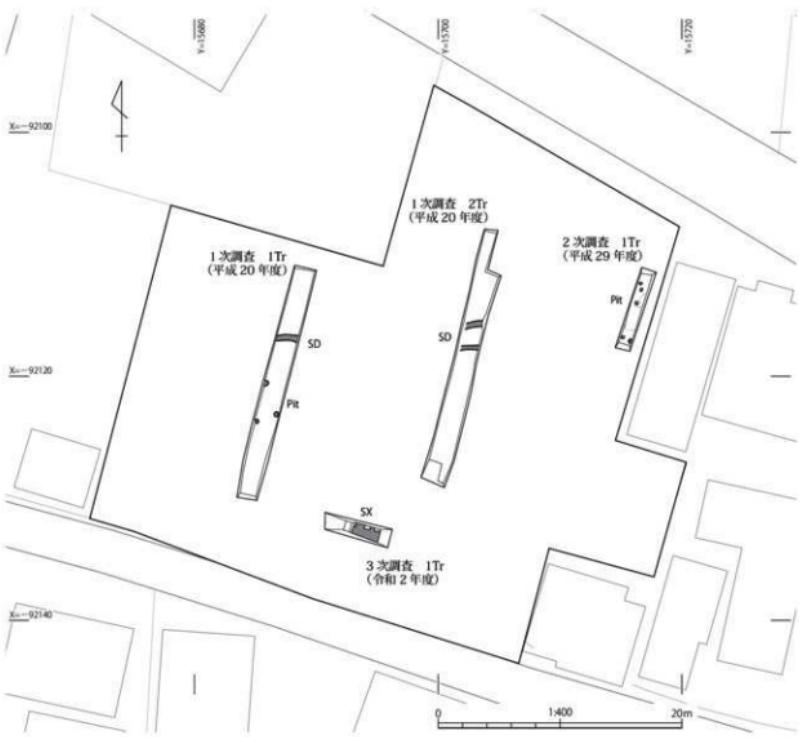
有限会社 グロウ（以下、事業者）は、当該地において集合住宅建設を計画し、令和2年11月17日、富士市文化振興課を通じて、文化財保護法第93条に基づく「埋蔵文化財発掘届出書」を県知事宛に提出した。

この届出に対して、令和2年11月20日、県知事から埋蔵文化財の保護が図れない部分について本発掘調査を実施するよう指示が通知された（文財第1542号の2）。

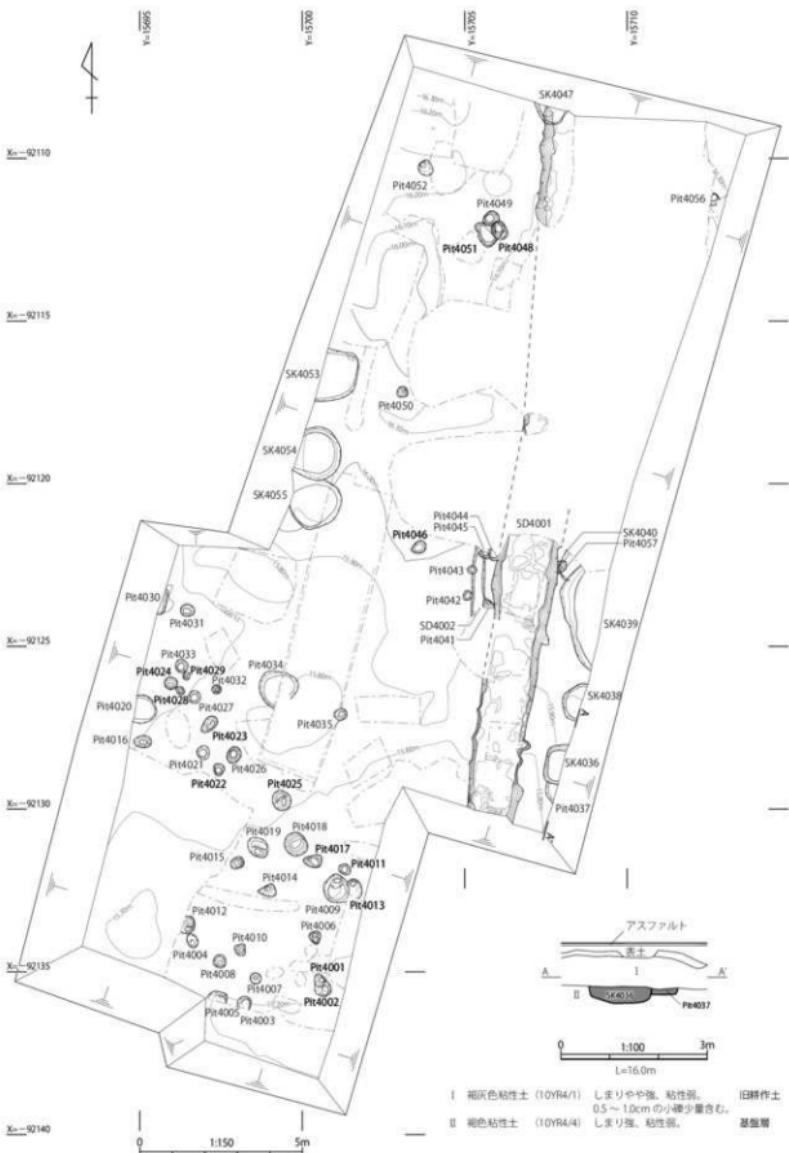
令和2年12月18日、事業者、富士市、市教育委員会の三者間で、「令和2年度 東平遺跡第43地区における文化財調査に関する協定書」を締結した。

これに基づき、令和2年12月21日、事業者（委託者）と富士市長（受託者）の二者間で「令和2年度東平遺跡第43地区発掘作業に関する業務委託契約書」を締結した。これにより、文化振興課職員による本発掘調査（4次調査）を実施することとなり、令和3年1月6日、文化振興課は文化財保護法第99条に基づく書類「発掘調査について」を県知事宛に提出した（富市文発第748号）。

本発掘調査は富士市教育委員会（担当課：市民部文化振興課）が直接担当し、人力掘削業務を有限会社パル文化財研究所（代表取締役 片平 剛）に委託した。なお、重機掘削業務などは事業者からの提供により実施した。



第3図 確認調査トレンチ平面図



第4図 本調査区全体図

**(4) 本発掘調査（4次調査）**

本発掘調査は建物建設予定地（約 657 m<sup>2</sup>）から掘削に危険（隣家や道路への影響）を伴う部分を除いた範囲を調査区（412.248 m<sup>2</sup>）とし、令和 3 年 1 月 13 日から 2 月 16 日にかけて行った。

調査の結果、奈良・平安時代のものと想定される多数のビット・土坑と、南北方向の溝を検出・完掘し、記録保存を行った。

遺物はごく少量の土器片が出土し、令和 3 年 2 月 12 日、富士警察署長宛に「埋蔵物の発見届」（富市文発第 837 号）を、県知事宛に「出土品保管証」（富市文発第 837-2 号）を提出した。これは県知事により埋蔵文化財の認定を受けている（令和 3 年 3 月 8 日付け文財第 2211 号）。

令和 3 年 2 月 17 日、事業者に本発掘調査の完了について報告し（富市文発第 855 号）、2 月 26 日、事業者ならびに県知事宛に「発掘調査結果概要」（富市文発第 878 号）を提出した。

その後、業務委託金の精算をもって、発掘作業に関わる業務委託契約が終了した。

## 第 2 節 整理作業の経緯と経過

本発掘調査の終了後、令和 2 年 12 月 18 日に事業者、富士市、市教育委員会の三者間で締結した「令和 2 年度 東平遺跡第 43 地区における文化財調査に関する協定書」に基づき、令和 3 年 9 月 13 日、整理作業に関わる業務委託契約が事業者と富士市長の二者間で締結された。

出土遺物の洗浄・注記・接合検討・図化・写真撮影、遺構の記録図面および写真の整理・編集、報告文の執筆、報告書の編集といった整理作業を行い、令和 4 年 3 月 18 日、本書を刊行し、業務委託金の精算をもって、整理作業に関わる業務委託契約が終了した。

## 第 3 節 調査の体制

本書で報告する東平遺跡第 43 地区に関する一連の調査は、以下の体制で実施した。

**令和 2 年度（3 次調査・4 次調査）**

【調査主体】富士市教育委員会 教育長 森田 嘉幸

【担当機関】富士市役所市民部 部長 高野 浩一

文化振興課 課長 久保田伸彦

文化財担当 統括主幹 植松 良夫

参事補兼主幹 石川 武男

調査担当者 主査 佐藤 祐樹

主査 藤村 翔

調査員 小島 利史

若林 美希

志崎江莉子

**令和 3 年度（整理作業）**

【調査主体】富士市教育委員会 教育長 森田 嘉幸

【担当機関】富士市役所市民部 部長 有川 一博

文化振興課 課長 久保田伸彦

文化財担当 統括主幹 植松 良夫

参事補兼主幹 石川 武男

調査担当者 主査 佐藤 祐樹

主査 藤村 翔

調査員 小島 利史

若林 美希

## 第2章 東平遺跡の概要

### 第1節 地理的環境

東平遺跡が所在する富士市は、静岡県の東部に位置する。その地理的環境を概観すると、駿河湾を南に臨み、北には富士山がそびえ、山裾を南西に広げている。西には岩本山を有する星山丘陵と岩淵火山地が、東には既に火山としての活動を停止している愛鷹山が存在する。西方には北から流下する富士川と富士山西麓を源とする潤井川が駿河湾に注ぎ、東方には愛鷹山に源流をもつ須津川や赤瀬川、浮島ヶ原低湿地を西流する沼川など、多数の河川が流れる。

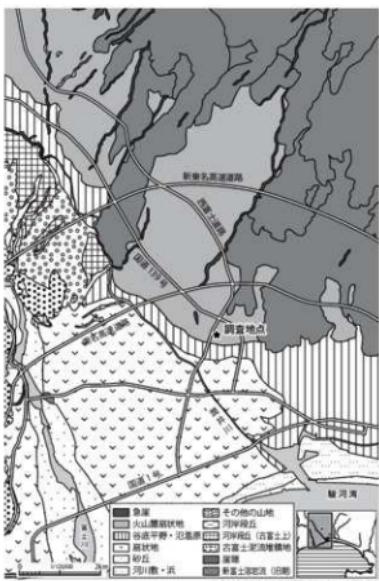
こうした環境にある富士市域の地形は、富士山や愛鷹山の火山活動により形成された丘陵地、富士川や潤井川が運搬した土砂の堆積により形成された沖積平野、河川の放出砂礫が駿河湾の沿岸流や波浪によって運搬され形成された田子浦砂丘、砂丘の内側につくられた湖沼に沖積層が堆積して発達した浮島ヶ原低湿地など、変化に富んだ様相をみせている。

地形の基盤のひとつである富士山の噴火活動は、小御岳火山の噴火（数十万年前）に始まり、古富士火山（8万年～1万6千年前）、新富士火山（1万4千年前～現在）と大きく3期に分けられる。不透水性の古富士泥流の上に、透水性の新富士火山溶岩流が広がるため、新富士火山溶岩流の末端には数多くの湧水地が存在する。また、浮島ヶ原低湿地は、内湾交通に適した土地であった。

東平遺跡は、潤井川の東岸、富士山南麓に広がる大淵扇状地の緩斜面上に位置する。本遺跡の西には伝法沢川が流れ、潤井川から分岐した小潤井川に合流し、駿河湾へと至る。遺跡の南東部に所在する富知六所浅間神社の境内には現在も湧水が認められ、駿河湾へ注ぐ和田川の起点となっている。



第5図 駿河湾上空から富士市を望む



第6図 周辺地形図

## 第2節 歴史的環境

潤井川西岸の星山丘陵に立地する高徳坊遺跡では弥生時代後期の集落が検出されている。

しかし、潤井川東岸地域で人の営みが確認されるのは古墳時代前期からである。川窪遺跡では、大廓Ⅲ式期の土器を伴う溝状遺構（SD02・03）が検出されており、方形周溝墓である可能性が考えられている。また、明確な遺構は検出されていないが、沢東A遺跡でも大廓式土器が出土している。

集落の姿が認められるのは古墳時代中期後半（5世紀後半）からである。中柄・中ノ坪遺跡1地区や沢東A遺跡1次調査地点・3次調査地点、東平遺跡28地区で当該期の建物跡が検出されている。これらの地点はいずれも潤井川、凡夫川やその氾濫原の近くに位置している。

沢東A遺跡と中柄・中ノ坪遺跡では6世紀以降も連続と集落が営まれ続けるが、東平遺跡においては6世紀代が集落の空白期となる。

6世紀初頭、東平遺跡の南西部に伊勢塚古墳（TK47～MT15型式併行期）が築かれる。伊勢塚古墳は墳丘径54mを測る二段築成の円墳である。墳丘には葺石が貼られ、幅7～8mの周溝が巡るとみられる。また、円筒埴輪片や巫女の姿とみられる人形土製品が出土している。潤井川東岸地域を開発した集団の最初の首長墓と位置づけられている。

伊勢塚古墳を礎矢として、この地に築かれる古墳を伝法古墳群と総称している。伊勢塚古墳に統いて、東平遺跡の西を流れる伝法沢川沿いに中原4号墳（TK43型式併行期）、横沢古墳（TK209型式併行期）が築かれる。中原4号墳は伊勢塚古墳から1.5kmほど北の伝法沢川東岸に位置する径11mの円墳で、東駿河地域で最も早く横穴式石室を取り入れた古墳とされる。その副葬品には、装身具・武具・馬具・土器に加えて農工具や鍛冶具・生産用具などが多数含まれており、被葬者には、ヤマト王權と軍事的に結びつき、渡来系集団とも関わりをもち、鉄器生産・加工などの手工業技術をもってこの地域の開発を進めた集団を統率する指導者が想定されている。

東平遺跡では6世紀末頃から再び集落が認められるようになり、7世紀代は遺跡の南東部、旧富士川氾濫原近くの28地区や、和田川の水源に近い16地区で建物数が増加する。中柄・中ノ坪遺跡においても6～7世紀の集落は旧富士川氾濫原近くに営まれる。沢東A遺跡では、6世紀末から7世紀後半にかけて建物数が一挙に増加し、集落の最盛期を迎える。

伝法古墳群としては、国久保古墳（TK217/飛鳥I）、中村上1号墳（TK217）、東平1号墳（TK217/飛鳥II）などが集落より北側の広範囲に相次いで築かれる。国久保古墳からは雁木玉や鐵鐸が出土し、



第7図 東平遺跡の位置

東平1号墳には高句麗の武器を祖形とするとみられる丁字形利器や3振の大刀・馬具が副葬されるなど、被葬者には中原4号墳以来の渡来系かつ軍事的な指導者という性格が引き継がれていると考えられる。

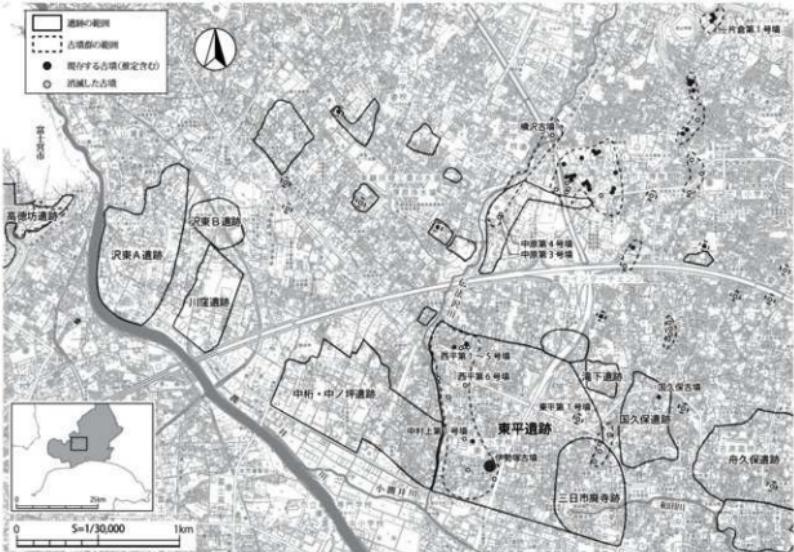
8世紀になると、7世紀代に墓域であった東平遺跡の中央付近（15・3・2・9・41・20地区など）に突如として大規模な集落が築かれる。東平遺跡の西に位置する中柵・中ノ坪遺跡や、東に位置する滝下遺跡、国久保遺跡においてもこの時期の集落が検出されている。全体に集落域が北側の広範囲に拡がったことが見てとれる。この大規模な集落化は、律令制に基づく中央政権の地方支配によって計画的になされたものと考えられている。中でも、東平遺跡2・3・9地区では約250軒の堅穴建物とともに多くの掘立柱建物が整然と並べて建られ、その西に位置する27地区では底面に「布自」と墨書のある8世紀前半の須恵器环身が出土しており、ここが駿河国富士郡郡家の中枢であると位置づけられている。

7世紀代に集落域であった東平遺跡南東部の28地区では、8世紀前葉とみられる長大な庇付掘立柱

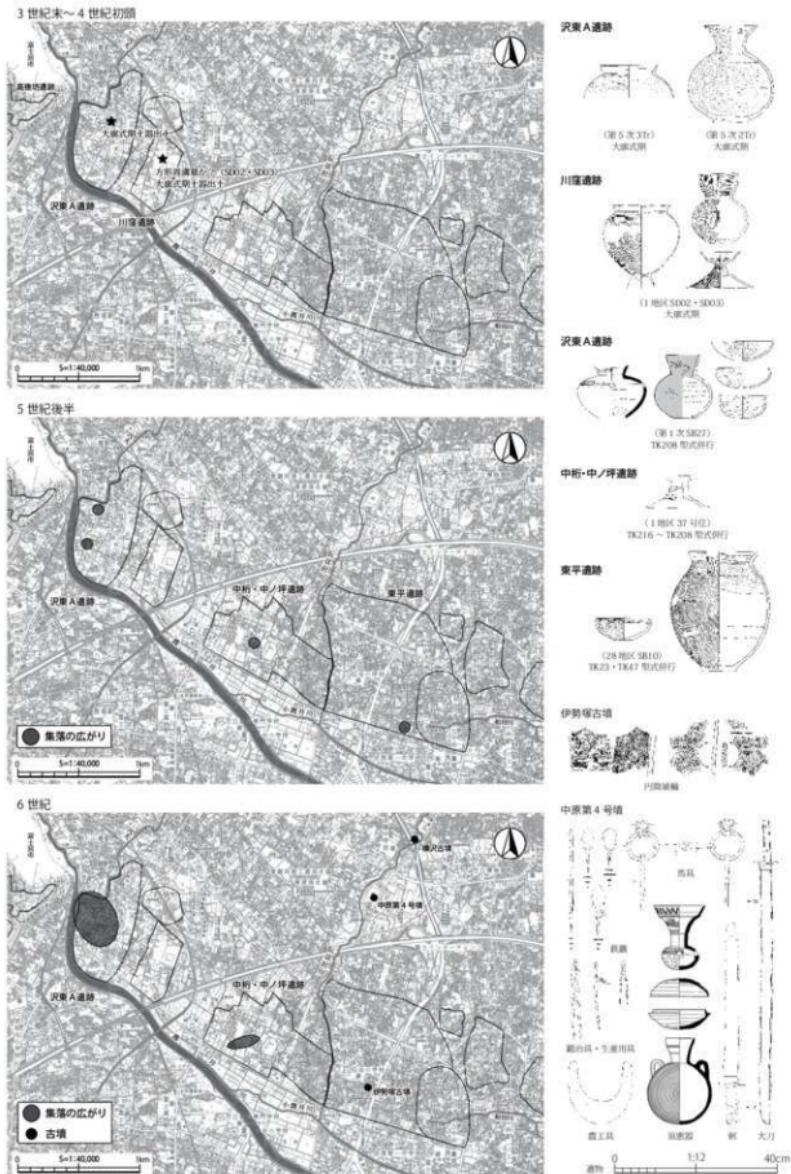
建物が同時期の堅穴建物と近接して検出され、在地首長層の居館と推定されている。16地区では堅穴建物が減少する一方で、8世紀初頭から前葉につくられた軒丸瓦を含む大量の屋瓦が9世紀後半以降に廃棄された瓦溜まりが出土しており、通常の集落とは異なる様相がこの時期に認められる。明確な遺構はいまだ確認されていないが、8世紀前半頃に、屋瓦を葺いた寺院が16地区近辺に建てられていたことが想定され、この一帯を三日市廃寺跡と呼称している。

8世紀前半には大規模集落の西と東に墓域が移動し、西平1～5号墳などが密集して築かれる。西平1号墳の横穴式石室には、飛鳥の官営工房で生産された方頭大刀や蕨手刀と、富士郡大領級の役人が使用する銅製腰帶具が副葬されており、被葬者が律令制の下に組み込まれていることを示している。その後、8世紀後半には古墳は築かれなくなる。

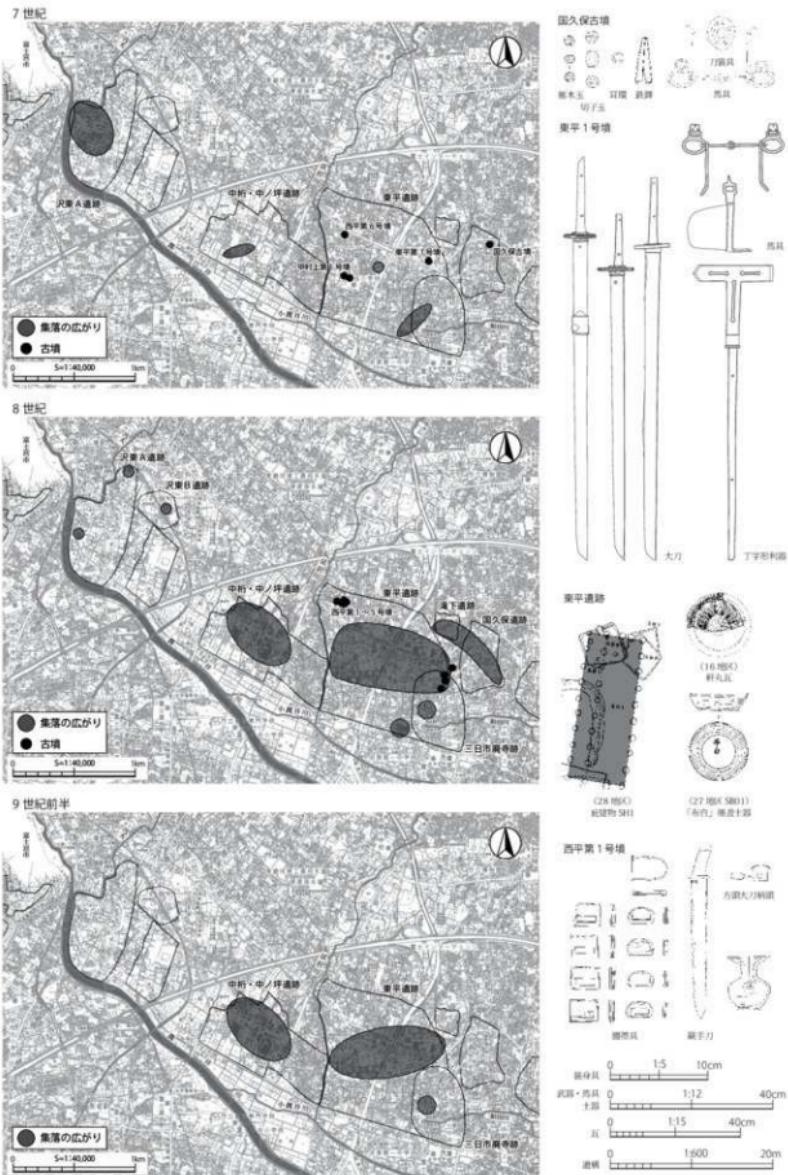
9世紀前半には建物数が急激に減少する。9世紀後半から10世紀前半には集落域も縮小する様子を見せる。東平遺跡では群家中枢と見られた地区から



第8図 潤井川東岸遺跡分布図



第9図 歴史的地理 (1)



第10図 歴史的環境（2）

集落が消え、その西方（15地区）と東方（41・20・37地区）に認められるのみとなる。中折・中ノ坪遺跡でも、遺跡北側の広範囲に拡大していた集落域が9世紀後半から10世紀前半には潤井川近くの1地区に集中するようである。

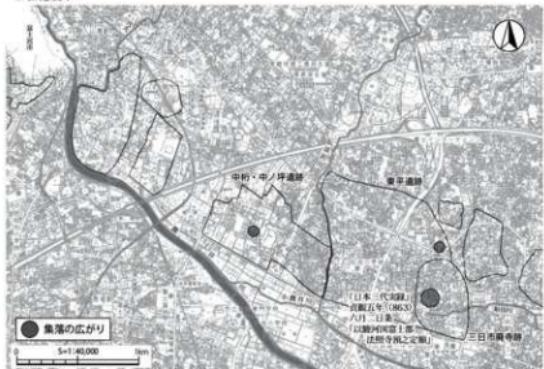
東平遺跡16地区では9世紀後半とみられる二面庇付掘立柱建物と区画溝が検出されている。16地区周辺からは同時期の墨書き土器が多く出土しており、中には「寺」「厨」「て」などの文字が認められる。『日本三代実録』貞觀5年（863年）6月2日条に「以駿河國富士郡法照寺預之定額」とあり、検出された二面庇付掘立柱建物は「法照寺」に関連する遺構と考えられている。先述したように、大量の屋

瓦が9世紀後半以降に廃棄された様子も確認されている。『扶桑略記』延喜2年（902年）9月26日には「駿河國云上富士郡官舎為群盜被焼亡之由」とあり、その後、10世紀後半以降の集落の姿は確認されていない。

沢東A遺跡の集落は7世紀に最盛期を迎えた後、9世紀までは縮小しながら存続するが10世紀には継続しないようである。

川窪遺跡では古墳時代前期以降、集落の様子は明らかとなっていないが、11世紀前半（百代寺窯期）に位置づけられる建物跡が1軒検出されており、東平遺跡を中心とする集落が途絶えた後、この地に集落が営まれたとみられる。

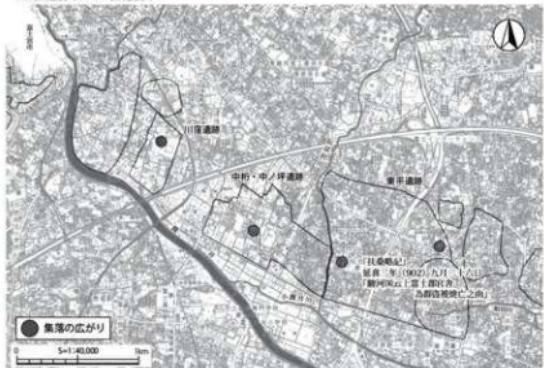
9世紀後半



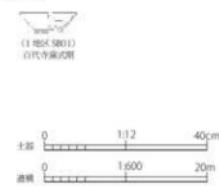
東平遺跡



10世紀前半・11世紀前半



川窪遺跡



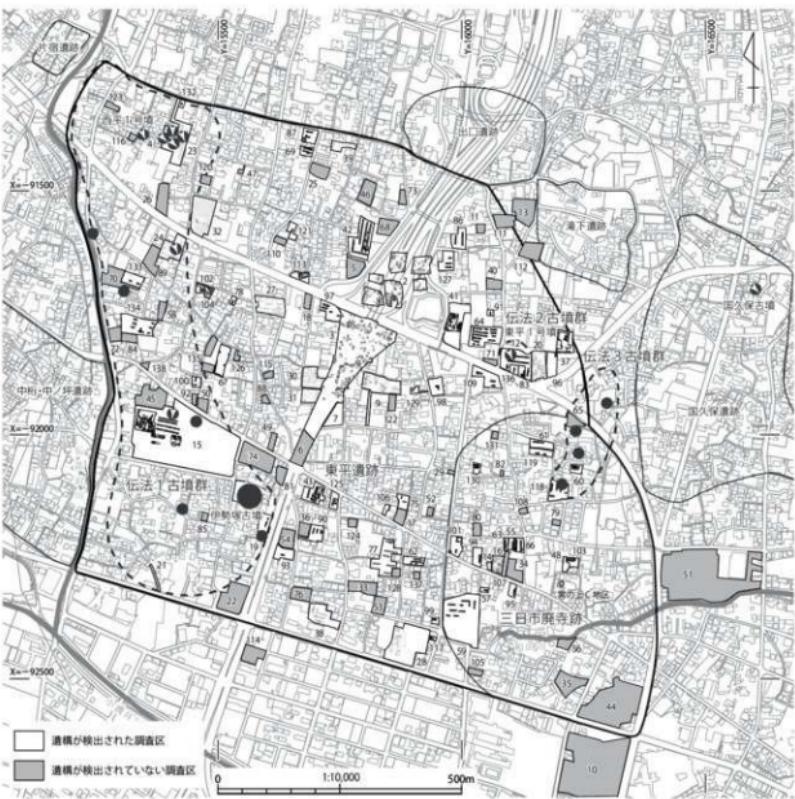
第11図 歴史的環境 (3)

東平遺跡では、東名高速道路富士インターチェンジ建設工事に伴って昭和40年に実施された第1次調査（東平遺跡第2地区）を皮切りに、現在まで多数の発掘調査が行われている。

また、東平遺跡の東側に包蔵地範囲を接して存在する三日市廃寺跡や、範囲が重複する伝法1古墳群、伝法2古墳群は、文化財保護法上は別の遺跡として登録されているが、富士市の歴史を辿る上では切り離して考えることが出来ない。

そのため、この4遺跡で行われる調査については、調査の行われた順に一連の地区名を付与し、「東平遺跡第○地区」と呼称している。

昭和33年の伊勢塚古墳の調査を第1地区とし、令和3年3月までに、本発掘調査、確認調査、試掘調査を合わせて、138地区184件の発掘調査が行われている（第12図、第1表）。



第12図 東平遺跡 調査履歴図

第1表 東平遺跡 調査履歴一覧表

地区	次	調査年度	調査 隊員	調査 種別	所在場所	調査の年月	調査期間	施設	遺物	備考
1 地区 1 次 S33		本発掘	伝助3-1	外	墓地造成	1955****	暮石・石碑			
1 地区 2 次 S35		本発掘	伝助3-3	外	墓地造成	19590621～19600620	暮石	運輸用	C	
1 地区 3 次 H12		試掘	伝助3-10	外	墓園改築	20000906～20000910		土製品		
1 地区 1 次 S40		本発掘	伝助2		東名墓園1-C・C調査	19650904～19651030	墓穴跡物・掘立柱建物跡	土糞器・便器類・鉄器	A	
2 地区 1 次 S53		本発掘			西宮土塁跡建設	19741201～19800812	竪穴跡物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類・鉄器	A・B	
2 地区 1 次 S54		本発掘	伝助2658		墓地造成	19790901～19790919	古墳（西平第1号墳）	直刀・曲刀・鍔製鋸器具	C・H	
2 地区 1 次 S54		工事立会	伝助2515-1		施設建設	19800317				
2 地区 1 次 S55		本発掘			井子溝底跡建設	19800401～19800531	なし	土糞器	B	
2 地区 1 次 S55		本発掘	伝助2816		道上	19800501～19800530	掘立柱建物跡・竪穴建物跡			
2 地区					(未記)					
9 地区 1 次 S63		本発掘	伝助2837	外	所有園地設	19800601～19800626	竪穴跡物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類・鉄器・刀子・勾玉・キル・骨	E	
9 地区 1 次 S63		試掘	永田北町136-1	外	店舗建設	19900301～19900306	なし			
11 地区 1 次 H81		試掘	伝助2425-3		住宅建設	19900118～19900204	土坑・ビット・溝状通路	土糞器・便器類・陶磁器		
12 地区 1 次 H81		本発掘	伝助2369-1	外	美術館等建設	19911115～19911229	古墳（東平第1号墳）	直刀・劍・丁字型刀器	D	
13 地区 1 次 H83		試掘	伝助2481-2		マシンガラ敷地造成	19910318～19910319	なし			
14 地区 1 次 H83		学術調査	西門上町1-18		三日市市今井前畠跡	19990414～19990502	墓穴跡物跡・柱坑・土壤	土糞器・便器類・布月瓦		
15 地区 1 次 H83		試掘	伝助2743		小学校校舎整備	19920608～19920811	なし	円筒埴輪		
15 地区 2 次 H18		試掘	伝助2743		区内通水渠・給水機構造	20000607～20000626			N	
15 地区 3 次 H18		試掘	伝助2743-2	外	小学校校舎整備	20000724～20000727	竪穴建物跡		N	
15 地区 4 次 H18		本発掘	伝助2743-2	外	区内通水渠・給水機構造	20000802～20000813	竪穴跡物跡・掘立柱建物跡	土箱片・土糞器・羽器類・金銀製品・馬具・刀子等・石器	N	
15 地区 5 次 H29 H29-08		試掘	伝助2743-2	外	小学校校舎整備	20000826～20000827	なし		N	
15 地区 6 次 H29		本発掘	伝助2743-2	外	小学校校舎整備	20080219～20090226	竪穴跡物跡・掘立柱建物跡・溝状通路・性別不明遺物	土糞器・便器類	N	
15 地区 7 次 H22 H22-08		試掘	伝助3116-1		小学校体育器具庫建設	20100722	なし		P	
16 地区 1 次 S55		試掘	西門上町2991-1	外	東平遺跡改修	198008**	竪穴建物跡	土糞器・灰陶陶器・瓦	G	
16 地区 2 次 H84		試掘	西門上町2991-1	外	駐車場整備	19930111～19930127	竪穴建物跡・ビット	土糞器・便器類・瓦	G	
16 地区 3 次 H83		試掘	西門上町2991-1	外	小学校校舎整備	20000724～20000727	竪穴建物跡	土糞器・便器類・土坑・ビット	G	
16 地区 4 次 H83		学術調査	西門上町2991-1	外	三日市市今井前畠跡改修	19940411～19940431	古墳（中村上1号墳）	金銀製品・馬具・刀子等・石器	G	
17 地区 1 次 H83		試掘	伝助2865-1		法務署建設	19950913	なし			
18 地区 1 次 H85		試掘	伝助2529-2	外	在宅建	19940203～19940206	溝状通路	土糞器・便器類		
19 地区 1 次 H85		試掘	伝助3106-1	外	ガソリンスタンド建設	19941010～19941010		土糞器片・消耗品		
19 地区 2 次 H29 H29-02		確認	伝助3106-1		店舗建設	20170412～20170413	ビット	鑿頭・瓦	V	
20 地区 1 次 H87		試掘	伝助2371-1		空地造成	19950907～19950910	竪穴建物跡	土糞器	T	
20 地区 2 次 H83		本発掘	伝助2371-1		空地造成	19960527～19960627	竪穴建物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類	T	
21 地区 1 次 H87		工事立会	伝助3108-1		河川改修	199310**	なし			
22 地区 1 次 H87		試掘	伝助3291-1		総合研究所	19960101～19960309	なし	土糞器・便器類・陶器	H	
23 地区 1 次 H87		試掘	伝助2601-1	外	同町内改修	19960111～19960319	古墳（西平第2号墳）	消耗品	H	
23 地区 2 次 H88		測量調査	伝助2610-1	外	同町内改修	19960415～19960615	古墳（西平第2～5号墳）	消耗品	H	
23 地区 3 次 H88		本発掘	伝助2610-1	外	同町内改修	19960607～19960631	古墳（西平第2～5号墳）	消耗品	H	
24 地区 1 次 H88		試掘	伝助2619-1	外	畜糞堆	19961125～19961209	竪穴建物跡	土糞器・便器類	H	
24 地区 2 次 H88		本発掘	伝助2619-1	外	畜糞堆	19961216～19970316	古墳（西平第6号墳）	土糞器・便器類・土坑・ビット	H	
25 地区 1 次 H89		試掘	伝助2497-3		共同住宅建設	19970612～19970618	なし			
26 地区 1 次 H90		測量	伝助2619-5		廻縄網施設	19990110～19990121	なし			
27 地区 1 次 H91		試掘	伝助2571-1	外	市本産業今井代留地造成	19990108～19990217	竪穴建物跡		G	
27 地区 2 次 H91		本発掘	伝助2571-2	外	市本産業今井代留地造成	20000112～20000125	竪穴建物跡	土糞器・便器類	G	
27 地区 3 次 H95		試掘	伝助2571-1	外	企画展示	20040303～20040204		K		
28 地区 1 次 H91		試掘	伝助2571-5	外	店舗建設	19991010～19991014	竪穴建物跡	土糞器・便器類	F	
28 地区 2 次 H91		本発掘	伝助3024-1	外	店舗建設	20000303～20000307	竪穴建物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類	F	
29 地区 1 次 H92		試掘	伝助2879-3	外	防火水槽施設	20000227	ビット・標識不明			
30 地区 1 次 H12		試掘	伝助2824-1	外	宅地造成	20000219～20000423	竪穴建物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類	H	
30 地区 2 次 H12		本発掘	伝助2828-1	外	宅地造成	20010307～20010310	土坑	土糞器・便器類	H	
31 地区 1 次 H12		試掘	伝助2829-1	外	宅地造成	20010307～20010310	住居跡	土糞器・便器類	H	
32 地区 1 次 H13		試掘	伝助2599-2		旅館建設	20011203～20011210	竪穴建物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類	H	
33 地区 1 次 H16		試掘	伝助3013-1	外	宅地造成	20041116～20041214		消耗品・宋銅	I	
34 地区 1 次 H16		試掘	西門上町11-2	外	共同住宅建設	20041201～20041202		土糞器・消耗品・布月瓦	I	
35 地区 1 次 H16		試掘	西門上町3151-5	外	共同住宅建設	20041004～20041008			J	
36 地区 1 次 H15		試掘	伝助3064-1	外	共同住宅建設	20050609			K	
37 地区 1 次 H17		試掘	伝助2311-2		共同住宅建設	20050601～20050617	竪穴建物跡	土糞片	J	
37 地区 2 次 H17		木本植	伝助2331-2		共同住宅建設	20050604～20050612	竪穴建物跡・掘立柱建物跡	土糞器・便器類	J	
37 地区 3 次 H19-15		試掘	伝助2331-5	外	移転新築	20071107～20071109	竪穴建物跡・ビット	土糞器・便器類	L	
37 地区 4 次 H19-100		木本植	伝助2331-5	外	移転新築	20080110～20080113	竪穴建物跡・ビット・土壌	土糞器・便器類	L	
38 地区 1 次 H17		試掘	伝助3064-1	外	共同住宅建設	20080330～20090509	竪穴建物跡	土糞器・便器類	J	
39 地区 1 次 H17		試掘	伝助2486-2	外	共同住宅建設	20090526～20090528	掘立柱建物跡	土糞器・便器類	J	
40 地区 1 次 H18		試掘	伝助2396-12	外	住宅建設	20090602			J	
41 地区 1 次 H18		試掘	伝助2442-1	外	旅館建設	20070326～20070323			J	
41 地区 2 次 H27 H27-19		確認	伝助2391-1	外	ホテル建設	20150914～20150915	竪穴建物跡・土坑・ビット	土糞器	U	
41 地区 3 次 H27 H27-25		確認	伝助2391-1	外	ホテル建設	20151214～20151215	竪穴建物跡・土坑・ビット	土糞器・木製品	U	
41 地区 4 次 H28 H28-101		木本植	伝助2391-1	外	ホテル建設	20160609～20160606	竪穴建物跡・土坑・ビット	土糞器・便器類・瓦陶器	U	

32 地点と戻戻

地区	名 称	開 発 年 度	開 発 番 号	開 発 種 別	所 在 地	面 積 の 概 要							
42 地区 1 次 H19 H19-12	試験	仮令 2404-1	外	マンション建設	20070027 ~ 20071009	既往建築物・ビット	土解説・照査器	K					
43 地区 1 次 H20 H20-01	試験	仮令 2806-3	外	ホテル建設	20080415 ~ 20080416	建	なし	M					
43 地区 3 次 H20 H20-02	確認	仮令 2806-3	外	不動産販賣	20180208	ビット	なし	V					
43 地区 4 次 H20 H20-10	本契約	西側上町 2894-20	外	集合住宅建設	20210113 ~ 20210210	既往建築物・ビット	土解説・陶器器・金属製品	中					
44 地区 1 次 H20 H20-13	試験	西側 4丁目 148-1	外	既往建築物	20090226 ~ 20090304	なし	なし	M					
45 地区 1 次 H21 H21-07	試験	仮令 2753-2	外	まちづくりセンター改築	20090906 ~ 20090917	なし	なし	O					
46 地区 1 次 H21 H21-14	試験	仮令 2884-5	外	不動産販賣	20100114 ~ 20100115	なし	なし	O					
47 地区 1 次 H21 H21-18	試験	仮令 2888-1	外	個人住宅建設	20100808	なし	なし	P					
48 地区 1 次 H22 H22-02	試験	西側上町 2497-2	外	個人住宅建設	20100422 ~ 20100428	既穴建築物	土解説・照査器	P					
49 地区 1 次 H22 H22-06	確認	仮令 2894-12	外	不動産販賣	20100608	なし	なし	P					
50 地区 1 次 H22 H22-07	試験	仮令 2782-2	外	不動産販賣	20100706 ~ 20100707	なし	なし	P					
51 地区 1 次 H22 H22-10	試験	仮令 2812-1	内	既往解説新築	20100826 ~ 20100827	なし	なし	P					
52 地区 1 次 H22 H22-13	試験	仮令 2869-1	外	個人住宅建設	20101008 ~ 20101007	なし	なし	P					
53 地区 1 次 H22 H22-19	試験	仮令 3031-1	外	共同住宅建設	20101201	なし	なし	P					
53 地区 2 次 H22 H22-25	試験	仮令 3031-1	外	共同住宅建設	20101228	なし	なし	P					
54 地区 1 次 H22 H22-24	試験	仮令 3106-1	外	動物治療施設	20101217	なし	なし	P					
55 地区 1 次 H22 H22-28	試験	西側上町 2978-2	外	個人住宅建設	20101227 ~ 20101228	既穴建築物	土解説・照査器・瓦・灰・陶器器	P					
56 地区 1 次 H22 H22-29	試験	西側 8丁目 3423-2	外	共同住宅建設	20101301	なし	なし	P					
57 地区 1 次 H23 H23-04	試験	仮令 8丁目 2970-27	外	宅地造成	20101418	既穴建築物	土解説・照査器	P					
58 地区 1 次 H23 H23-09	試験	仮令 8丁目 2706-1	外	個人住宅建設	20101614 ~ 20101615	なし	なし	P					
59 地区 1 次 H23 H23-10	試験	仮令 8丁目 5-1	外	社宅改築	20102074 ~ 20102081	既穴建築物・ビット	照査器・土解説・瓦	Q					
59 地区 2 次 H25 H25-30	確認	西側 8丁目 5-1	外	改築改修	20102136	なし	なし	Q					
60 地区 1 次 H25 H25-25	試験	西側上町 2902-2	外	個人住宅建設	20102020	既穴建築物	土解説・照査器	Q					
60 地区 2 次 H25 H25-100	本契約	西側上町 2902-23 の一部	外	宅地造成分譲	20103011 ~ 20103019	既穴建築物・ビット・土板	土解説・照査器・瓦	Q					
61 地区 1 次 H25 H25-01	確認	西側上町 2902-23 の一部	外	宅地造成分譲	20103045	既穴建築物・ビット	瓦・陶器器	Q					
62 地区 1 次 H25 H25-13	確認	仮令 2898-1	外	宅地造成分譲	20103028	なし	なし	Q					
63 地区 1 次 H25 H25-12	確認	西側上町 2978-2	外	個人住宅建設	20103085 ~ 20103087	既穴建築物・土質・ピット	土解説・照査器・瓦	Q					
64 地区 1 次 H25 H25-28	確認	仮令 2883-1	外	共同住宅建設	20131121 ~ 20131129	既穴建築物・ビット	土解説・照査器・灰・陶器器	Q					
65 地区 1 次 H25 H25-29	確認	西側上町 2912-2	外	個人住宅新築	20131121	なし	なし	土解説					
66 地区 1 次 H25 H25-36	確認	西側上町 2978-3	外	宅地造成・分譲	20140112 ~ 20140114	既穴建築物・瓦	土解説・照査器・瓦	Q					
67 地区 1 次 H25 H25-26	確認	仮令 2789-1	外	宅地造成	20131114	不明建築	土解説	Q					
68 地区 1 次 H26 H26-01	確認	仮令 2481-3	外	不動産販賣	20140409 ~ 20140410	なし	なし	R					
69 地区 1 次 H26 H26-02	確認	仮令 2594-1	外	不動産販賣	20140415 ~ 20140417	既穴建築物・土質・ビット	土解説・照査器	R					
70 地区 1 次 H26 H26-21	試験	仮令 2700-11	外	宅地造成	20140319	なし	なし	Q					
71 地区 1 次 H26 H26-11	確認	仮令 2386-1	外	不動産販賣	20140714 ~ 20140715	なし	なし	土解説					
72 地区 1 次 H26 H26-18	確認	仮令 2713-1	外	宅地造成	20140903	なし	なし	R					
73 地区 1 次 H26 H26-25	確認	仮令 2483-2	外	不動産販賣	20140929	なし	なし	R					
74 地区 1 次 H26 H26-26	確認	仮令 2806-1	外	既往建築物	20141007 ~ 20141008	なし	なし	R					
74 地区 2 次 H26 H26-30	確認	仮令 2800-1	外	既往建築物	20141119 ~ 20141120	なし	なし	R					
75 地区 1 次 H26 H26-27	確認	仮令 2866-1	外	宅地造成	20141016 ~ 20141017	土質・ピット	土解説・照査器・鉛器	R					
76 地区 1 次 H26 H26-28	確認	仮令 3066-1	外	個人住宅建設	20141027	なし	なし	照査器					
77 地区 1 次 H27 H27-13	確認	仮令 3040-1	外	宅地造成	20150727 ~ 20150729	既穴建築物	土解説・照査器	R					
78 地区 1 次 H27 H27-04	確認	仮令 2548-1	外	個人住宅建設	20150923	ピット	なし	R					
79 地区 1 次 H28 H28-04	確認	仮令 2810-18	外	個人住宅新築	20160421	なし	なし	S					
80 地区 1 次 H28 H28-07	確認	仮令 2804-1	外	駐車場整備	20160403	なし	なし	S					
82 地区 1 次 H28 H28-18	確認	西側上町 2894-15	外	不動産販賣	20160629 ~ 20160630	なし	なし	S					
83 地区 1 次 H28 H28-19	確認	仮令 2770-1	外	地政改正	20161003 ~ 20161004	既穴建築物・土質・ピット	土解説・照査器	S					
83 地区 2 次 H28 H28-104	本契約	仮令 2730-1	内	地盤造成	20161204 ~ 20161207	既穴建築物・土質・ピット・性軸干槽構造	土解説・照査器・灰・陶器器	S					
84 地区 1 次 H28 H28-30	確認	仮令 2721-1 の内	外	個人住宅新築	20161214	なし	なし	S					
85 地区 1 次 H28 H28-31	確認	仮令 3122-3	外	個人住宅新築	20161215	なし	なし	S					
86 地区 1 次 H28 H28-01	確認	仮令 2426-1	外	宅地造成	20170404	土質・ピット	土解説	V					
87 地区 1 次 H28 H28-03	確認	仮令 2595-1	外	不動産販賣	20170418	既穴建築物・土質・ピット	土解説・照査器	V					
87 地区 2 次 H29 H29-02	確認	仮令 2795-12	外	既往住宅建設	20170529 ~ 20170601	土質・ピット・既往遺構	土解説	V					
88 地区 1 次 H29 H29-08	確認	仮令 2326-4	外	不動産販賣	20170523	なし	なし	V					
89 地区 1 次 H29 H29-14	確認	仮令 2619-9	外	有形事業用地	20170604	なし	なし	V					
90 地区 1 次 H29 H29-17	確認	仮令 3054-2	外	アパート・新築	20170913 ~ 20170914	既穴建築物・土質・ピット	土解説	V					
91 地区 1 次 H29 H29-21	確認	仮令 2389-7	外	個人住宅新築	20171011	不明建築・既往構造・ピット	土解説・照査器・灰・陶器器	V					
92 地区 1 次 H29 H29-26	確認	仮令 2755-1	外	宅地造成	20171204	なし	なし	V					
93 地区 1 次 H29 H29-27	確認	仮令 3096-7	外	不動産販賣	20171205 ~ 20171206	既往遺構・既往構造(既往構造分譲)	土解説・照査器	V					
94 地区 1 次 H29 H29-37	確認	西側上町 11-16	外	既往住宅建設	20180219 ~ 20180221	既穴建築物・ピット	土解説・照査器・灰・陶器器	V					
95 地区 1 次 H29 H29-08	確認	西側 8丁目 2992-4	外	個人住宅	20180314	既穴建築物	土解説・照査器	V					
96 地区 1 次 H29 H29-09	確認	仮令 2326-1	外	既往住宅	20180521 ~ 20180523	既穴建築物	土解説・照査器	V					
97 地区 1 次 H29 H29-10	確認	仮令 2518-1	外	住宅造成・新築	20180529 ~ 20180631	土質・ピット	土解説・照査器	V					
98 地区 1 次 H29 H29-13	確認	仮令 2489-1	外	集合住宅新築	20180612 ~ 20180613	既穴建築物・土質・ピット	土解説・照査器・灰・陶器器・陶器器	V					
99 地区 1 次 H29 H29-19	確認	仮令 3014-1	外	宅地造成	20180702	なし	なし	V					
100 地区 1 次 H30 H30-23	確認	仮令 2754-8	外	集合住宅新築	20180718	既穴建築物・土質・ピット	土解説	V					
100 地区 1 次 H30 H30-29	確認	西側上町 2994-1	外	既往建築	20180807	既往遺構	土解説	V					
101 地区 2 次 H30 H30-52	確認	西側上町 2994-1	外	既往建築	20181107	ピット	土解説	V					
103 地区 1 次 H30 H30-64	確認	西側上町 2994-1	外	サインホール設置	20190120	既往遺構・ピット	なし	V					
104 地区 4 次 H30 H30-106	本契約	西側上町 2994-1	外	サインホール設置	20190129	土質・ピット	なし	W					
102 地区 1 次 H30 H30-30	確認	仮令 2551-1	外	不動産販賣	20190806	ピット	なし	W					

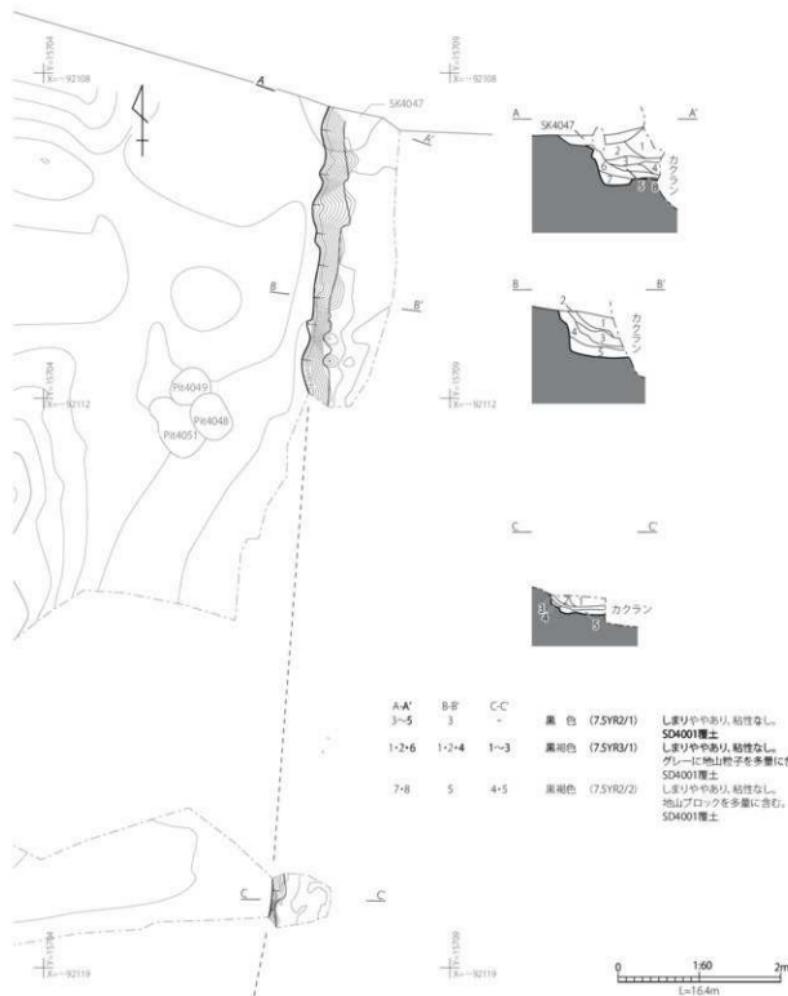
施区	次	測量 年数	測量 年号	測量 種別	所轄地	調査の年数	調査期間	遺集	遺物	報告書
102 地区	2 次	H30	H30-10	本年度	長沼 2551-1 等	宅地造成	2018/023 ~ 2018/122	土坑・ビット	土器・陶器	W
103 地区	1 次	H30	H30-32	確認	西田上町 2967-1	宅地分譲	2018/021	竪穴建物跡・土坑・ビット 瓶底灰窓	土器・瓦・鉄製品	W
103 地区	2 次	H30	H30-37	確認	西田上町 2967-1	宅地分譲	2018/095 ~ 2018/097	竪穴建物跡・溝・ビット	土器・陶器	W
104 地区	1 次	H30	H30-36	確認	仙波 2399-1	個人住宅新築	2018/031	なし	なし	W
105 地区	1 次	H30	H30-42	確認	西田 879-92-1	個人住宅新築	2018/010	なし	なし	W
106 地区	1 次	H30	H30-49	確認	仙波 2383-3	個人住宅新築	2018/018	竪穴建物跡・ビット・溝	なし	W
107 地区	1 次	H30	H30-51	確認	西田町 2991-6 等	個人住宅新築	2018/024	なし	土器・土製品	W
108 地区	1 次	H30	H30-53	確認	西田上町 2966-12	個人住宅新築	2018/113	なし	なし	W
109 地区	1 次	H30	H30-63	確認	西田上町 2972-1	法螺貝	2018/022 ~ 2018/023	竪穴建物跡・土坑	土器・鉄製品	W
110 地区	1 次	H30	H30-69	確認	仙波 2383-9	集合住宅新築	2018/018	なし	なし	W
111 地区	1 次	H31	H31-01	確認	仙波 2400-2	個人住宅新築	2018/049 ~ 2018/0411	なし	なし	X
112 地区	1 次	H31	H31-07	確認	仙波 2355-1	宅地分譲	2018/050 ~ 2018/0509	なし	なし	X
113 地区	1 次	H31	H31-10	確認	仙波 2520-5	法螺貝	2018/0515	ビット	土器	X
113 地区	2 次	H31	H31-102	木質構造	西田 2520-5	竪穴建物	2018/078 ~ 2018/091	柱・柱穴・土坑	土器	X
114 地区	1 次	H31	H31-21	試掘	長沼町 72-73	法螺貝	2018/016 ~ 2018/018	なし	なし	X
115 地区	1 次	H31	H31-22	確認	仙波 2321-1	個人住宅新築	2018/019	なし	なし	X
116 地区	1 次	H31	H31-29	確認	仙波 2653-4	個人住宅新築	2018/020	なし	なし	X
117 地区	1 次	H31	H31-32	確認	仙波 3014-11	個人住宅新築	2018/020	ビット	なし	X
117 地区	2 次	H31	H31-160	本年度	仙波 3014-11	個人住宅新築	2018/030 ~ 2018/1002	土坑・ビット	土器・金屬製品	X
118 地区	1 次	H32	H32-42	確認	西田上町 2966-1	宅地分譲	2018/114	ビット	土器	X
118 地区	2 次	H32	H32-43	確認	西田上町 2925-1	宅地分譲	2018/124 ~ 2018/126	竪穴建物跡・ビット	土器・陶器・金屬製品	X
119 地区	1 次	H32	H32-49	確認	西田上町 2929-2	宅地分譲	2018/125	竪穴建物跡・ビット	土器	X
120 地区	1 次	H33	H33-51	確認	仙波 281-1	個人住宅新築	2018/126	なし	なし	X
121 地区	1 次	H33	H33-55	確認	仙波 2805-1	宅地造成	2018/123	溝・ビット	土器	X
122 地区	1 次	H33	H33-57	確認	仙波 2809-1	住宅地帯新築	2018/016	なし	土器	X
123 地区	1 次	H33	H33-58	確認	仙波 2683-1	個人住宅新築	2018/014	なし	なし	X
124 地区	1 次	H33	H33-59	確認	仙波 3048	個人住宅新築	2018/012 ~ 2018/20	なし	なし	X
125 地区	1 次	H33	H33-64	確認	仙波 2806-5	個人住宅建設	2018/008	ビット	なし	X
125 地区	2 次	H33	H33-102	木質構造	仙波 2806-4	個人住宅用具新築	2018/024 ~ 2018/028	柱・柱穴	土器	X
126 地区	1 次	H33	H33-03	確認	仙波 2791-9	土地造成工事	2018/043	なし	なし	X
127 地区	1 次	H33	H33-05	確認	仙波 2431	宅地分譲	2018/048 ~ 2018/049	竪穴建物跡・土坑・ビット	土器・底器・輪・鉢	X
128 地区	1 次	H33	H33-06	確認	仙波 3026-1	個人住宅新築	2018/044	なし	なし	X
129 地区	1 次	H33	H33-07	確認	仙波 2839-2	個人住宅新築	2018/045	ビット	土器	X
130 地区	1 次	H33	H33-09	確認	西田上町 2994-20 等	個人住宅新築	2018/041	竪穴建物跡	土器	X
130 地区	2 次	H33	H33-101	本年度	西田上町 2994-20 等	個人住宅新築	2018/0518 ~ 2018/0528	竪穴建物跡・ビット	土器・金屬製品	X
131 地区	1 次	H33	H33-111	確認	西田上町 2995-25 等	個人住宅建設	2018/063	なし	なし	X
132 地区	1 次	H33	H33-14	確認	仙波 2610-10	個人住宅新築	2018/0511	ビット	なし	X
133 地区	1 次	H33	H33-22	確認	仙波 2790-1	宅地分譲	2018/0624 ~ 2018/0626	土坑	なし	X
134 地区	1 次	H33	H33-24	確認	仙波 2733-1	個人住宅新築	2018/0728 ~ 2018/0730	竪穴建物跡・ビット	土器・底器	X
135 地区	1 次	H33	H33-33	確認	仙波 2787	宅地分譲	2018/0914	なし	なし	X
136 地区	1 次	H33	H33-50	確認	仙波 2393-1	広域建設	2018/1015 ~ 2018/1021	ビット	土器・底器・陶器	X
137 地区	1 次	H33	H33-79	確認	仙波 3006-14	個人住宅新築	2018/0918	なし	土器	X
138 地区	1 次	H33	H33-85	確認	仙波 2734-2	不動産投資	2018/0929	なし	なし	X

## 【報告書】

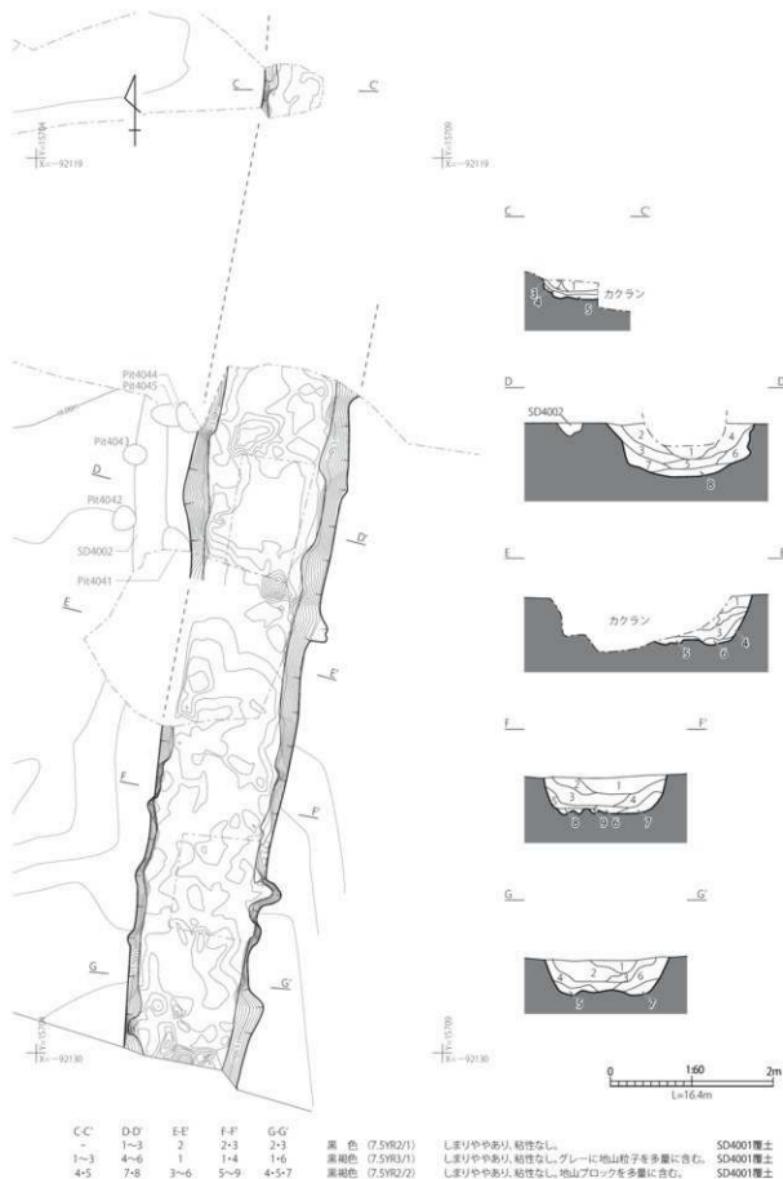
- A 「西平下道路（富士地区）- 佐久間城都市計画道路田子原通沿岸文化財付属調査報告書」(東平) (1981)
- B 「西平上道路（富士地区）- 佐久間城都市計画道路田子原通沿岸文化財付属調査報告書」(西平) (1981)
- C 「監工事費支拂付属調査報告書」(1983)
- D 「前第1回 脊椎動物調査報告」(1990)
- E 「第1回市内埋文化財付属調査報告書」(集) (1992)
- F 「第2回市内埋文化財付属調査報告書」(2001)
- G 「第3回市内埋文化財付属調査報告書」(2002)
- H 「第4回市内埋文化財付属調査報告書」(2003)
- I 「平成16年春」富士市内埋文化財付属調査報告書」(2006)
- J 「平成17年春」富士市内埋文化財付属調査報告書」(2006)
- K 「平成18年春」富士市内埋文化財付属調査報告書」(2006)
- L 「平成19年春」富士市内埋文化財付属調査報告書」(2006)
- M 「平成20年春」富士市内埋文化財付属調査報告書」(2007)
- N 「平成21年春」富士市内埋文化財付属調査報告書」(2011)
- P 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 平成22・23年度-」富士市埋文化財調査報告 第54集 (2013)
- Q 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 平成24・25年度-」富士市埋文化財調査報告 第57集 (2015)
- R 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 平成26・27年度-」富士市埋文化財調査報告 第60集 (2017)
- S 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 平成28年度-」富士市埋文化財調査報告 第62集 (2017)
- T 「東平道路 第20地区」富士市埋文化財調査報告 第61集 (2017)
- U 「東平道路 第41地区」富士市埋文化財調査報告 第63集 (2018)
- V 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 平成29年度-」富士市埋文化財調査報告 第66集 (2019)
- W 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 平成30年度-」富士市埋文化財調査報告 第67集 (2019)
- X 「富士市内埋文化財付属調査報告書」- 令和元年度-」富士市埋文化財調査報告 第70集 (2021)

# 第3章 調査の成果

## 第1節 遺構



第13図 SD4001 平面図・セクション図 (北)



第14図 SD4001 平面図・セクション図(南)

本調査区では、南北に走る溝状遺構2条（SD4001～4002）と土坑・ピット57基（Pit・SK連番で4001～4057）を検出し、完掘した。1次調査で検出した溝2条（SD）と3次調査で検出した不明遺構（SX1001）は、本調査では確認されなかった。

### 溝状遺構

#### SD4001（第13～14図）

調査区の東寄りに位置し、南北方向に真っ直ぐに延びる溝である。北側と南側は調査区外へ延び、調査区内でも大規模な擾乱に北半の大部分を削られている。検出された規模は、長さ21.70m、上端幅1.5m、下端幅1.25～1.35m、深さ47～60cmを測る。断面形は壁が垂直に近く立ち上がる逆台形を呈するが、壁面と床面はなめらかでなく、細かい凹凸が目立つ。主軸方位は西壁基準でN-6.66°-Eを指す。

#### SD4002（第15図）

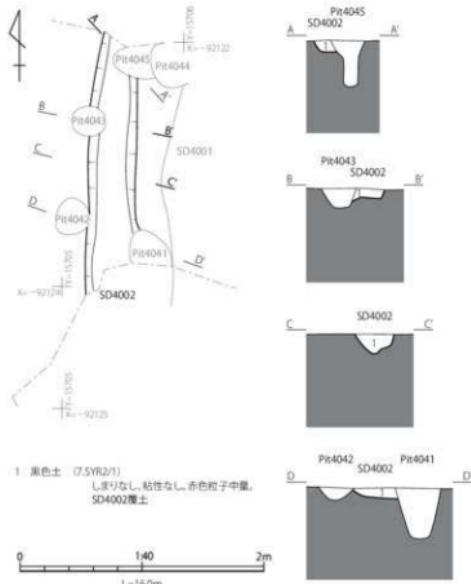
SD4001の西に、30cm前後の間をあけて南北方向に延びる溝である。北側と南側は擾乱に切られているため本来の規模は不明である。検出された規模は長さ2.18m、上端幅0.36m、深さ10～16cmを測る。断面形はU字形を呈する。主軸方位は西壁基準でN-3.9°-Eを指す。

### 土坑・ピット

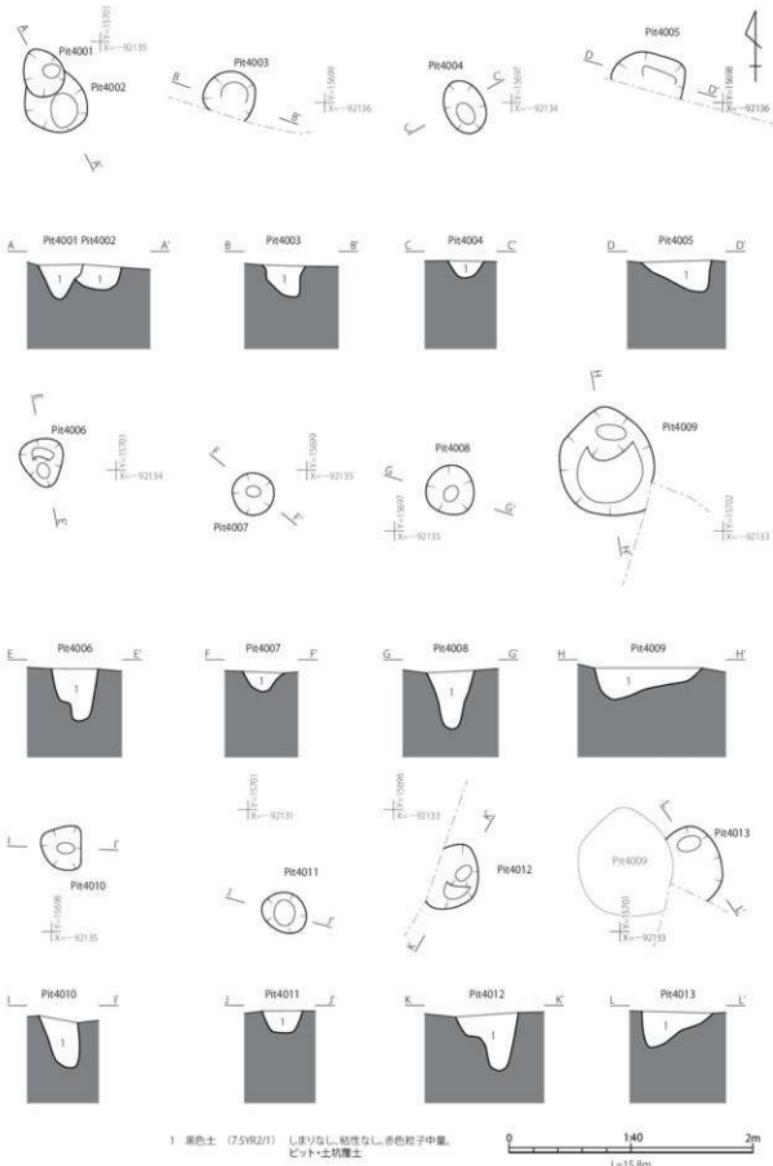
ピット（Pit）48基、土坑（SK）9基を完掘した（第16～20図）。

ピットの配置に規則性は見いだせず、掘立柱建物などの遺構の存在を推定することはできなかつた。

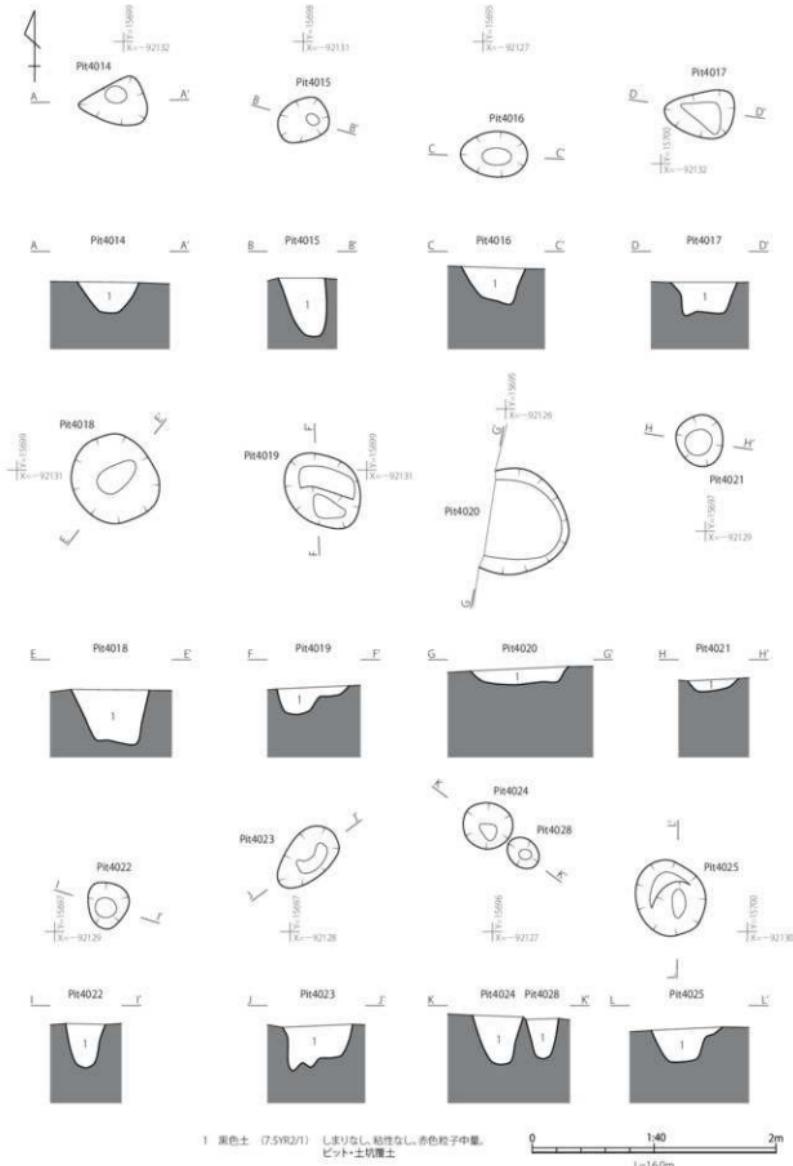
ピット・土坑の規模等は一覧表（第2表）に示した。



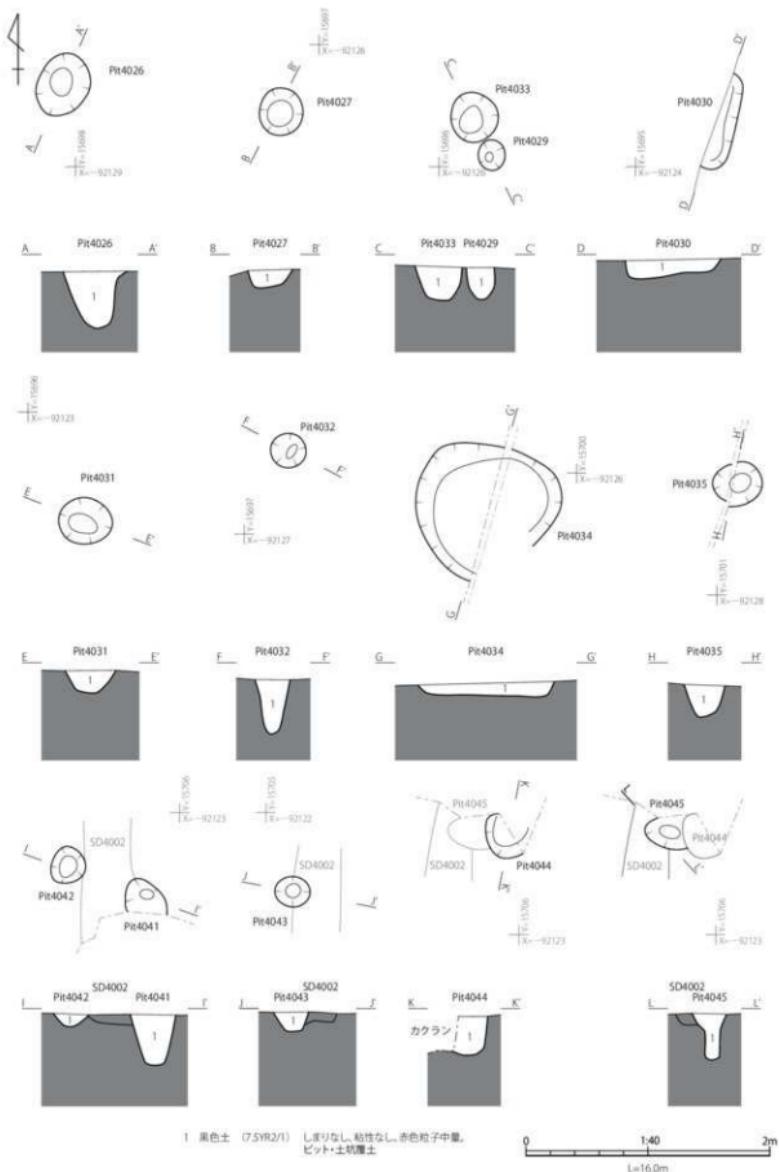
第15図 SD4002 平面図・セクション図



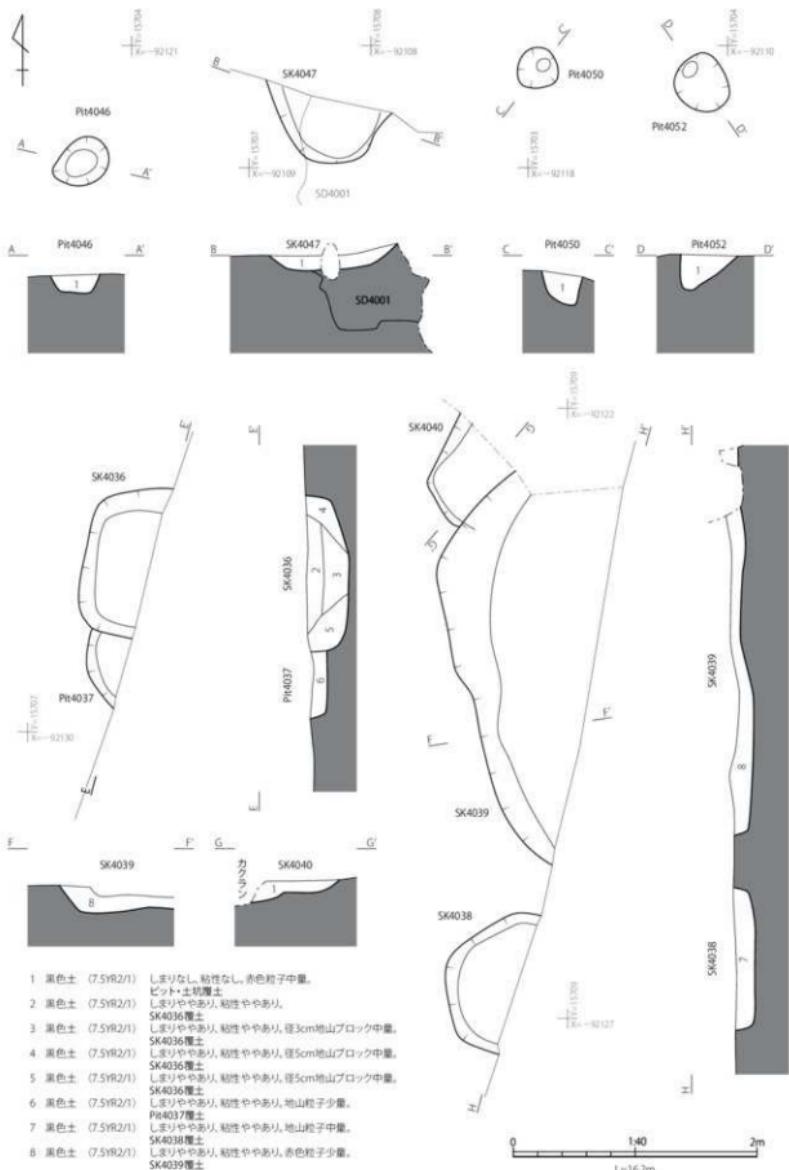
第16図 土坑・ビット 平面図・セクション図(1)



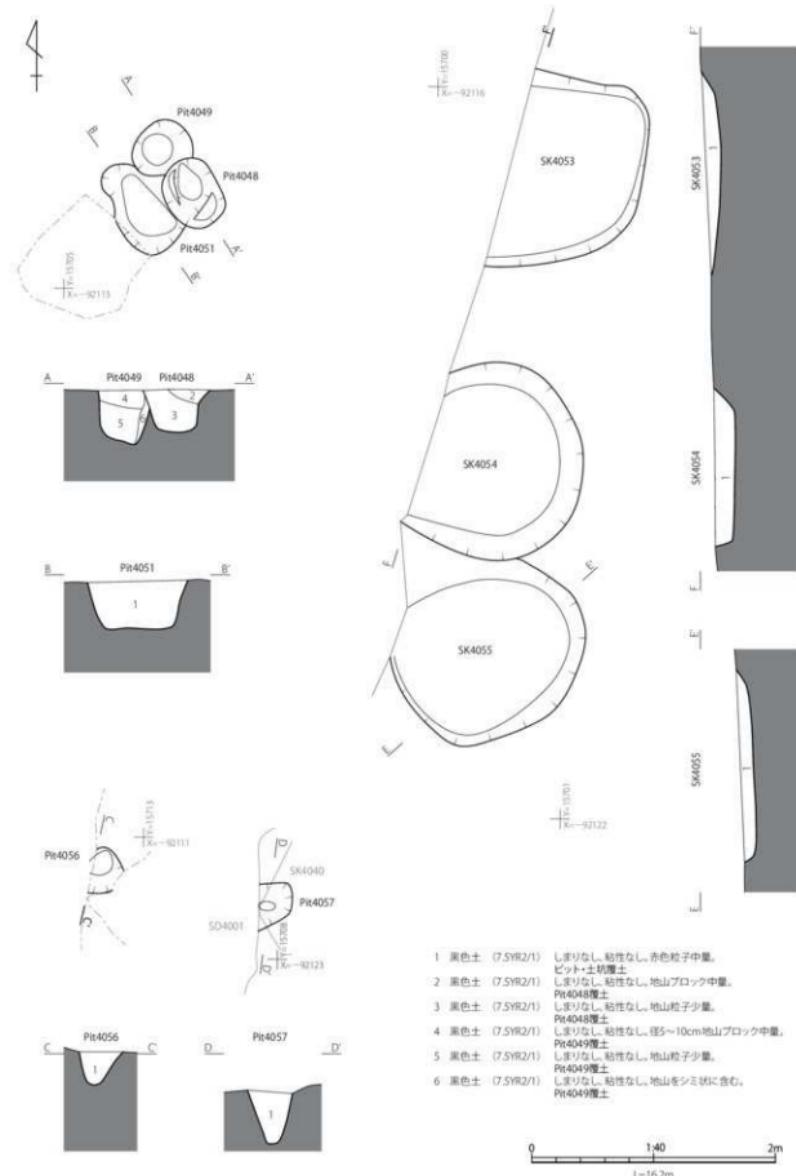
第 17 図 土坑・ピット 平面図・セクション図 (2)



第18図 土坑・ピット 平面図・セクション図(3)



第19図 土坑・ピット 平面図・セクション図(4)



第20図 土坑・ピット 平面図・セクション図(5)

第2表 ピット・土坑一覧表

番号	遺物名	法長 (cm)	法幅 (cm)	深さ (cm)	形態	断面形	遺物	切り合ひ關係 (占一部)
4001	Pt. 40	30	29	-	楕円形	U字形	-	Pt.4002 → Pt.4001
4002	Pt. (48)	50	21	-	楕円形	U字形	-	Pt.4002 → Pt.4001
4003	Pt. 42	(37)	26	-	(円形)	U字形	-	-
4004	Pt. 44	33	14	-	楕円形	U字形	-	-
4005	Pt. 60	(27)	28	-	楕円形	U字形	-	-
4006	Pt. 40	36	42	-	楕円形	U字形	-	-
4007	Pt. 35	34	18	-	円形	U字形	-	-
4008	Pt. 40	39	49	-	円形	U字形	-	-
4009	Pt. 88	75	27	-	楕円形	有段逆台形	-	Pt.4013 → Pt.4009
4010	Pt. 36	34	39	-	楕円形	U字形	-	-
4011	Pt. 38	30	28	-	円形	U字形	-	-
4012	Pt. 57	(39)	47	-	楕円形	有段 U字形	-	-
4013	Pt. 64	44	32	-	(楕円形)	有段 U字形	-	Pt.4013 → Pt.4009
4014	Pt. 52	41	26	-	楕円形	U字形	-	-
4015	Pt. 42	35	50	-	楕円形	U字形	-	-
4016	Pt. 55	36	29	-	楕円形	U字形	-	-
4017	Pt. 57	40	27	-	楕円形	逆台形	-	-
4018	Pt. 74	70	45	-	円形	U字形	-	-
4019	Pt. 71	54	23	-	楕円形	U字形	-	-
4020	Pt. (65)	89	14	-	(円形)	逆台形	-	-
4021	Pt. 42	38	12	-	円形	U字形	-	-
4022	Pt. 37	33	36	-	楕円形	U字形	-	-
4023	Pt. 60	36	36	-	楕円形	逆台形	-	-
4024	Pt. 40	38	40	-	円形	U字形	-	-
4025	Pt. 63	57	29	-	円形	U字形	-	-
4026	Pt. 54	41	46	-	円形	U字形	-	-
4027	Pt. 38	36	13	-	円形	逆台形	-	-
4028	Pt. 28	22	33	-	円形	U字形	-	-
4029	Pt. 24	22	28	-	円形	U字形	-	-
4030	Pt. 80	(18)	15	-	(楕円形)	逆台形	-	-
4031	Pt. 44	37	19	-	円形	逆台形	-	-

## 第2節 遺物

本地区では、確認調査では遺物が確認されず、本発掘調査においても極少量の土器片が出土したのみである。そのうち、2点を図示した（第21図）。

1はSD4001で出土した土師器片である。胎土には雲母が混ざり、器面は丁寧にみがかれており、甲型壺の底部か。2は中世あるいは近世の陶器の口縁部片である。



第21図 出土遺物実測図

第3表 出土遺物観察表

辨認番号	R番号	写真 図版	出土 場所	種別	級別	時代	法長 (cm)	法幅 (cm)	高さ (cm)	既成	残存 率	内面色調	外面色調	備考
第21図1	R0001	PL.6	SD4001	土師器	壺	-	-	(0.6)	良好	-	明赤褐色 (2.5YR6/6)	橙 (SYR6/6)	甲型壺	
第21図2	R0004	PL.6	複数	陶器	中世/近世	-	-	(3.05)	良好	-	明赤褐色 (SYR5/8)	明赤褐色 (SYR5/8)	甲型壺	

- 参考文献 沢東平遺跡に関する調査報告書は第1表に示す
- 静岡県埋蔵文化財センター 2013『中桁・中ノ坪遺跡』静岡  
県埋蔵文化財センター調査報告 第24集
- 富士市教育委員会 1983『伊勢塚古墳周溝緊急発掘調査報告』  
『富士市埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 富士市教育委員会 1991『流下遺跡発掘調査報告』『富士市  
埋蔵文化財発掘調査報告書 第2集』
- 富士市教育委員会 1995『富士市埋蔵文化財発掘調査報告書  
第4集 沢東A遺跡第2次調査』
- 富士市教育委員会 1995『沢東A遺跡 一富士不燃建材工  
業株式会社工場増設に伴う埋蔵文化財第3次発掘調査報告  
書』
- 富士市教育委員会 1997『沢東A遺跡・第V地区 第4次  
調査報告書』
- 富士市教育委員会 1998『沢東B遺跡 埋蔵文化財発掘調  
査報告書』
- 富士市教育委員会 2004『中桁遺跡』
- 富士市教育委員会 2007『中桁・中ノ坪遺跡 第2地区』
- 富士市教育委員会 2008『第3章 第2節 1. 川庭遺跡 第1  
地区』『平成17・18年度 富士市内遺跡発掘調査報告書』
- 富士市教育委員会 2010『第2章 第2節 9. 流下遺跡 G地区』  
『平成14・20年度 富士市内遺跡発掘調査報告書』
- 富士市教育委員会 2011『第3章 伝法 国久保古墳の調査』  
『平成13年度 富士市内遺跡・伝法 国久保古墳 埋蔵文  
化財発掘調査報告書』
- 富士市教育委員会 2012『高徳坊遺跡 第2・3地区』『富士  
市埋蔵文化財発掘調査報告書』富士市埋蔵文化財調査報  
告 第51集
- 富士市教育委員会 2012『第2章 第2節 1. 沢東A遺跡  
第5次調査地点』『富士市内遺跡発掘調査報告書 一平成  
11・12年度』富士市埋蔵文化財調査報告 第53集
- 富士市教育委員会 2012『第2章 第2節 9. 伝法 1古墳群  
伊勢塚古墳4次』『富士市内遺跡発掘調査報告書 一平成  
11・12年度』富士市埋蔵文化財調査報告 第53集
- 富士市教育委員会 2014『沢東A遺跡 第1次』富士市埋蔵  
文化財調査報告 第56集
- 富士市教育委員会 2016『伝法 中原古墳群』富士市埋蔵文  
化財調査報告 第59集
- 富士市教育委員会 2018『伝法 東平第1号墳』富士市埋蔵  
文化財調査報告 第64集
- 富士市教育委員会 2019『第4章 国久保遺跡の調査』『富  
士市内遺跡発掘調査報告書 一平成30年度』富士市埋  
蔵文化財調査報告 第67集

## 第4章 総括

**調査成果** 東平遺跡第43地区4次調査では、溝2条と土坑9基・ピット48基を検出、調査したのみで古代の建物跡は全く検出されなかつた。調査区の三分の一近くが、後世に擾乱を受けており、遺構の残存状況が良好ではないという点を差し引いても、遺物の出土量からは、調査区周辺に古代の建物跡が存在したとは想定できず、建物跡が存在しないという調査結果から導き出される様相が古代景観に近いと考えられる。加えて、令和2年度の調査でも本調査区の東方隣接地でも建物跡が全く検出されず、遺物の出土量も限られているエリアが展開することが明らかとなつておる（富士市教育委員会2022）、現在「東平遺跡」もしくは、「三日市廃寺跡」としている範囲内であつても、遺構のあり方は千差万別であり、エリアごとの様相の違いこそが郡家としての様々な侧面を示しているともいえよう。

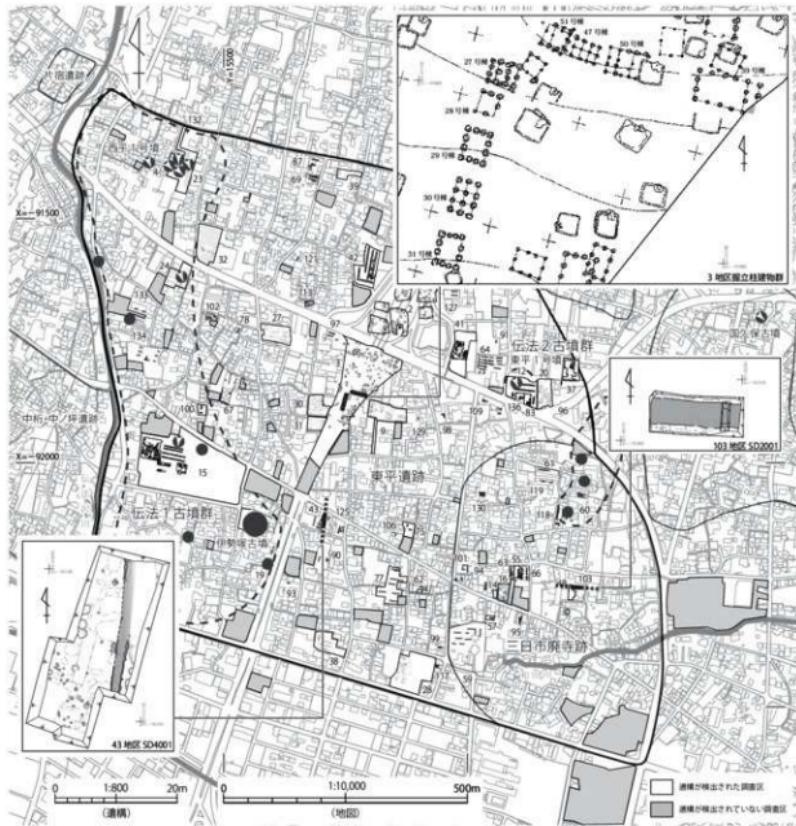
そもそも、郡家には中枢施設である政庁や館、厨家、正倉に加えて工房などの手工業生産エリア、農耕生産エリアなど様々な空間利用のあり方を想定すべきであるが、この遺構が希薄であるという空間をどのように理解すべきか、少し整理することとしたい。**伊勢塙古墳と郡家の空間利用** まず、伊勢塙古墳との空間関係を確認しておきたい。伊勢塙古墳は、直径54mに復元される古墳時代後期初頭頃の円墳、もしくは造り出し付き円墳と想定されている（藤村2012）。周辺には、かつて鎧塙や鏡塙などと称される小規模な古墳が存在したことが明らかとなつてゐる。今回の調査エリアは伊勢塙古墳から東側130m付近に位置しているが、古墳の北側や南側でも遺構の密集度が低いことがこれまでの確認調査で明らかとなつてゐる。

一方で、伊勢塙古墳の西側の伝法小学校構内の西側（第15地区）では、8世紀から9世紀、一部10世紀に至るまで竪穴建物跡が比較的密集して検出されている（富士市教委2010）。奈良時代から平安時代における郡司層が伊勢塙古墳やその周辺の小規模な古墳などに対してどのような意識を持っていたのかは明確ではないが、伊勢塙古墳が駿河湾から和田

川を遡って郡家に至る際のランドマーク的な様相を持ち合わせていたと仮定すると、古墳の前面（東側）は居住域としての利用が制限されていた可能性が指摘できよう。もしくは、郡司層の先祖の墓としての意識が少なからず受け継がれていたのではないかと想定すると、なおさら周辺エリアでの土地利用が制限されていた可能性が考えられよう。前述の15地区においても、少なくとも7世紀まで古墳周辺が墓域として認識されていた可能性が指摘されており（藤村2010）、そのような考えに立つのならば、本地点で検出された幅1.5m、深さ0.5～0.6mの溝も墓域と居住域の空間を区画する役割を担っていた溝と想定することもできよう。

**溝の役割** その一方で今回検出した溝には別の役割は考えられないであろうか。そもそも出土遺物が乏しく年代的位置づけが定まらないために溝の役割を考えることも困難だが、溝の方位からそのあり方について整理を試みる。溝の西辺はN-6.66°-Eであり、北から若干、東に傾いているもののほぼ真北方位をとる。これまで東平遺跡において見つかっている溝では、平成30年に検出された103地区の東西溝（103地区SD2001）が注目される（富士市教委2019）。この溝は幅2.8m、深さ1.6mを測り、調査区内において長さ14.5m分が検出されており、N-94.7°-E方向（北辺）に伸びている。これもほぼ真北方位から直交する方位を採用することから、郡家に関連した機能を想定しうる（山中2003）。

古代における溝には、取水用の溝、排水用の溝、防御用・侵入遮断用の溝、防火用貯水溝、運河、区画溝・地割溝などの用途がある（奈良文化財研究所2003）。想像の域を出ないが、東平遺跡第103地区SD1001の溝は、駿河湾から和田川を遡った湧水地点付近で物資を荷下ろしするための運河もしくは、舟の停泊に伴う遺構なのではないかと考えている。今回の溝は第103地区SD2001にほぼ直交しており、水のない地域における用水路としての役割や区画溝など様々な用途の役割を想定することもでき、現状では確定できない。



第22図 東平跡における北北東軸の造構配図

古墳時代や飛鳥時代における横穴式石室の開口方向は南南東軸を志向しており、本調査区や第103地区 SD1001 から想定される北北東軸（もしくは南南西軸）やそれに直交する軸とは異なっている。

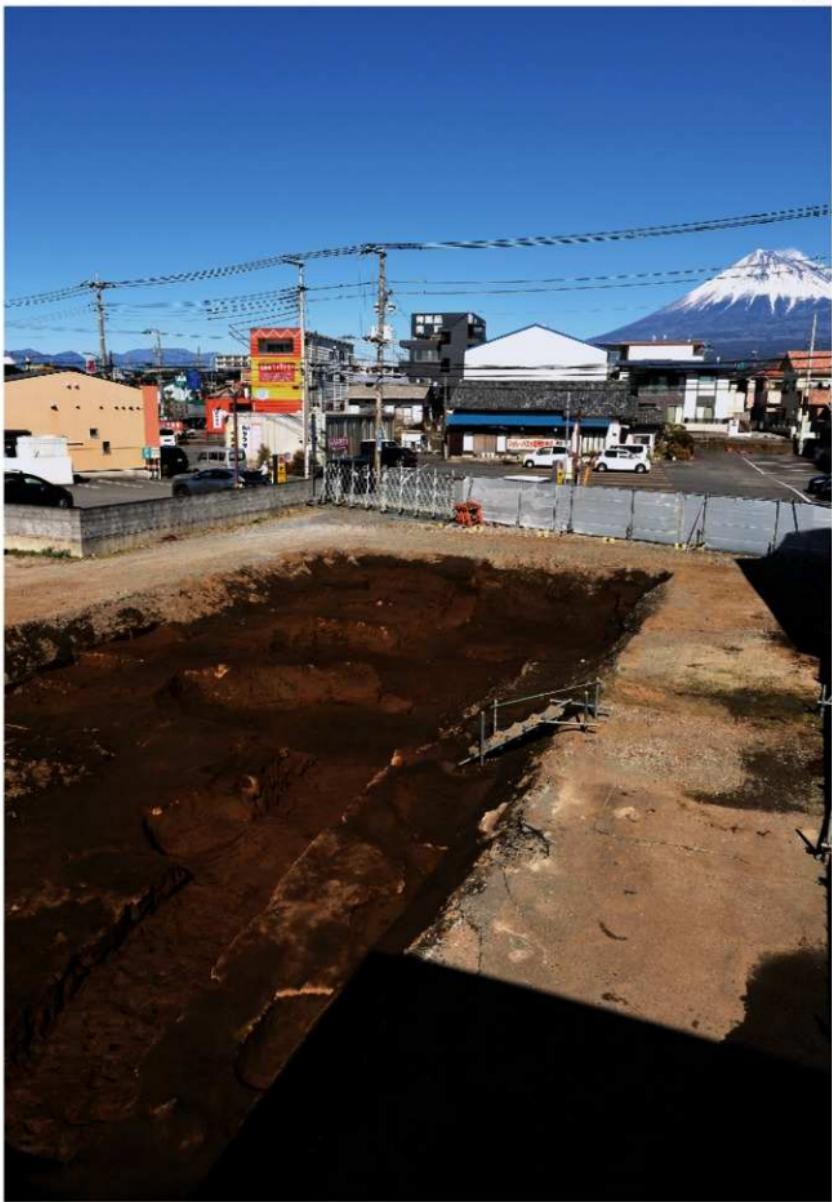
今後、奈良時代以降の東平跡における時期ごとの建物方位の推移を再検討し、傾斜などの地形に左右されない何らかの方位規制の有無やその要因とも想定される古代東海道との関連を再検討するとともに、今回の調査地点のような建物を有さない地点の調査成果を積極的に理解し、それらを含めた土地利用のあり方について再考していくこととしたい。

## 参考文献

- 奈良文化財研究所 2003『古代の官衙道路』I 遺構編
- 富士市教育委員会 2010『東平跡 第15地区』富士市立伝法 小学校校舎改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
- 富士市教育委員会 2019『富士市内遺跡発掘調査報告書－平成30年度－』
- 富士市教育委員会 2022『富士市内遺跡発掘調査報告書－令和2年度－』
- 藤村 邦 2010「總括」『東平跡 第15地区』富士市立伝法 小学校校舎改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 富士市教育委員会
- 藤村 邦 2012「古墳時代後期初期における2つの首長墓とその評価」『富士市内遺跡発掘調査報告書－平成11・12年度－』富士市教育委員会
- 山中 敏史 2003『建物造営方位』『古代の官衙道路』I 遺構編 奈良文化財研究所

写 真 図 版  
PLATE





1. 2区完掘全景（南東から）

PL.2



1. 1区完掘全景（西から）



2. 1区完掘全景（北西から）



1. 1区ピット完掘全景（南東から）



2. 2区遺構検出全景（南東から）



1. SD4001 土層帯 全景 (南東から)



2. SD4001 土層帯 AA'・BB' (南東から)



3. SD4001 土層帯 DD'・EE'・FF' (南西から)



4. 2区完掘全景 (南東から)



1. SD4001 (南から)



2. SD4001 南半 (北東から)



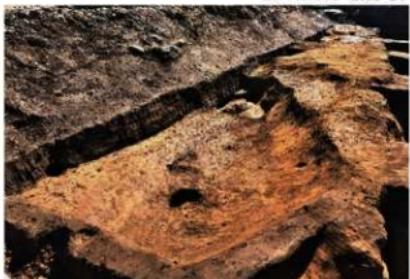
1. SD4002 (西から)



2. Pit4006 (東から)



3. Pit4024・4028・4029・4033 (南から)



4. SK4039 (北西から)



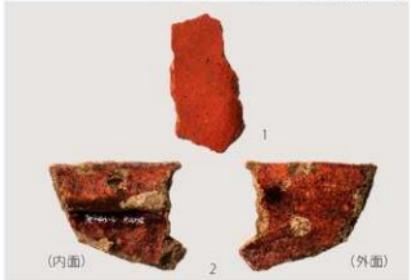
5. Pit4048・4049・4051 (南から)



6. SK4053・4054・4055 (南東から)



7. 発掘作業の様子 (南東から)



(内面)

2

(外面)

8. 出土遺物

## 報告書抄録

ふりがな	ひがしたいらいせき　だいよんじゅうさんちく
書名	東平遺跡 第43地区
副書名	
シリーズ名	富士市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第72集
編著者名	若林美希（編著）・佐藤祐樹（著）
編集機関	富士市教育委員会（担当課：市民部文化振興課）
所在地	〒 417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地 TEL 0545-55-2875
発行年月日	令和4年3月18日

富士市埋蔵文化財調査報告 第72集

## 東平遺跡 第43地区

発行年月日 令和4年3月18日

編集・発行 富士市教育委員会

〒417-8601 静岡県富士市永田町一丁目100番地

TEL 0545-55-2875 FAX 0545-53-0789

E-mail:si-bunka@div.city.fuji.shizuoka.jp

印刷・製本 株式会社文光堂

〒417-0041 静岡県富士市御幸町3-18

(富士市行政資料登録番号 R03-64)